

III 家庭教育

- 学校・家庭・地域の役割などについて、教員、保護者、学校評議員、一般県民に聞くことで、家庭教育などに関する意識や実態について把握することにした。
- 調査の結果、子どもに「基本的な生活習慣」、「社会のルールやマナー」を身に付けさせるのは、主に「家庭」と考えている人がいずれにおいても高い割合となっている。
- また、学校において、教職員と学校評議員は順に「学校はいじめや不登校などに適切に対応し、解決に取り組んでいる」、「学校では確かな学力の定着が図られている」、「地域では子どもの教育のために、家庭や学校との連携・協力が行われている」と回答する割合が高くなっている。

保護者は「家庭ではしつけや教育が十分に行われている」「学校では確かな学力の定着が図られている」、「地域では子どもの教育のために、家庭や学校との連携・協力が行われている」の順になっている。

一般県民は「学校では確かな学力の定着が図られている」、「地域では子どもの教育のために、家庭や学校との連携・協力が行われている」、「学校はいじめや不登校などに適切に対応し、解決に取り組んでいる」の順になっている。回答の割合が最も高い項目を前回調査と比較すると、平成17年度調査結果では、一般県民は「地域では子どもの教育のために、家庭や学校との連携・協力が行われている」となっている。
- 保護者と学校評議員は、子どもとのコミュニケーションにおいて、「日常の出来事や体験したこと」を大切な話題と考えている。次いで、保護者は「学校での交友関係について」、「健康面や体調について」、学校評議員は「社会で必要なルールやマナーの理解について」、「学校での交友関係について」と回答した割合が高くなっている。
- また、保護者に「自分の子をどのくらい把握しているか」と聞いたところ、回答の割合が高いのは「健康状態」、「興味や関心のあること」の順となっている。次いで、小中学校の保護者は「友だちのこと」、高等学校の保護者は「将来の夢や進路」、特別支援学校の保護者は「学校での生活」となっている。
- 家庭でのしつけや教育について、保護者は「社会のルールを守り、人に迷惑をかけるようにさせる」、「片付けなど自分のことは自分でできるようにさせる」ことに気を付けていると回答している。次いで、小学校と特別支援学校の保護者は「早寝早起きなど規則正しい生活習慣を身につけさせる」、中学校と高等学校の保護者は「勉強のことだけでなく会話をする」と回答している。

III-1 学校・家庭・地域での教育課題

『学校・家庭・地域での教育課題』について教職員、保護者、学校評議員及び一般県民に聞いたところ、回答の割合の高かった項目は、教職員及び学校評議員では「学校ははじめや不登校などに適切に対応し、解決に取り組んでいる」、「学校では確かな学力の定着が図られている」、「地域では子どもの教育のために、家庭や学校との連携・協力が行われている」の順であった（「そう思う」と「どちらかというと思う」の回答の割合の合計。以下同じ）。保護者では「家庭ではしつけや教育が十分に行われている」、「学校では確かな学力の定着が図られている」、「地域では子どもの教育のために、家庭や学校との連携・協力が行われている」、一般県民では「学校では確かな学力の定着が図られている」、「地域では子どもの教育のために、家庭や学校との連携・協力が行われている」、「学校ははじめや不登校などに適切に対応し、解決に取り組んでいる」の順であった。

また、回答の割合が最も高かった項目を平成17年度調査結果と比較すると、教職員及び学校評議員の回答は、いずれの調査においても「学校ははじめや不登校などに適切に対応し、解決に取り組んでいる」が最も割合が高く、平成25年度調査では教職員82.8%、学校評議員63.8%であり、平成17年度調査では教職員75.3%、学校評議員54.5%であった。保護者の回答は、いずれの調査においても「家庭ではしつけや教育が十分に行われている」の割合が最も高く、平成25年度調査では42.9%、平成17年度調査では34.7%であった。一般県民の回答は平成25年度調査では「学校では確かな学力の定着が図られている」(24.3%)であり、平成17年度調査では「地域では子どもの教育のために、家庭や学校との連携・協力が行われている」(16.7%)であった。

『学校・家庭・地域での教育課題』について教職員、保護者、学校評議員及び一般県民に聞いたところ、回答の割合の高かった項目は、教職員及び学校評議員では「学校ははじめや不登校などに適切に対応し、解決に取り組んでいる」（「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計。以下同じ。教職員：82.8%、学校評議員：63.8%）、「学校では確かな学力の定着が図られている」（教職員：55.7%、学校評議員：61.4%）、「地域では子どもの教育のために、家庭や学校との連携・協力が行われている」（教職員：54.8%、学校評議員：56.0%）の順であった。

保護者では「家庭ではしつけや教育が十分に行われている」（42.9%）、「学校では確かな学力の定着が図られている」（41.5%）、「地域では子どもの教育のために、家庭や学校との連携・協力が行われている」（36.0%）であり、一般県民では「学校では確かな学力の定着が図られている」（24.3%）、「地域では子どもの教育のために、家庭や学校との連携・協力が行われている」（21.7%）、学校ははじめや不登校などに適切に対応し、解決に取り組んでいる」（13.0%）であった。（図III-1～4 参照）

図 III-1 学校・家庭・地域での教育課題(教職員 n=2,046)

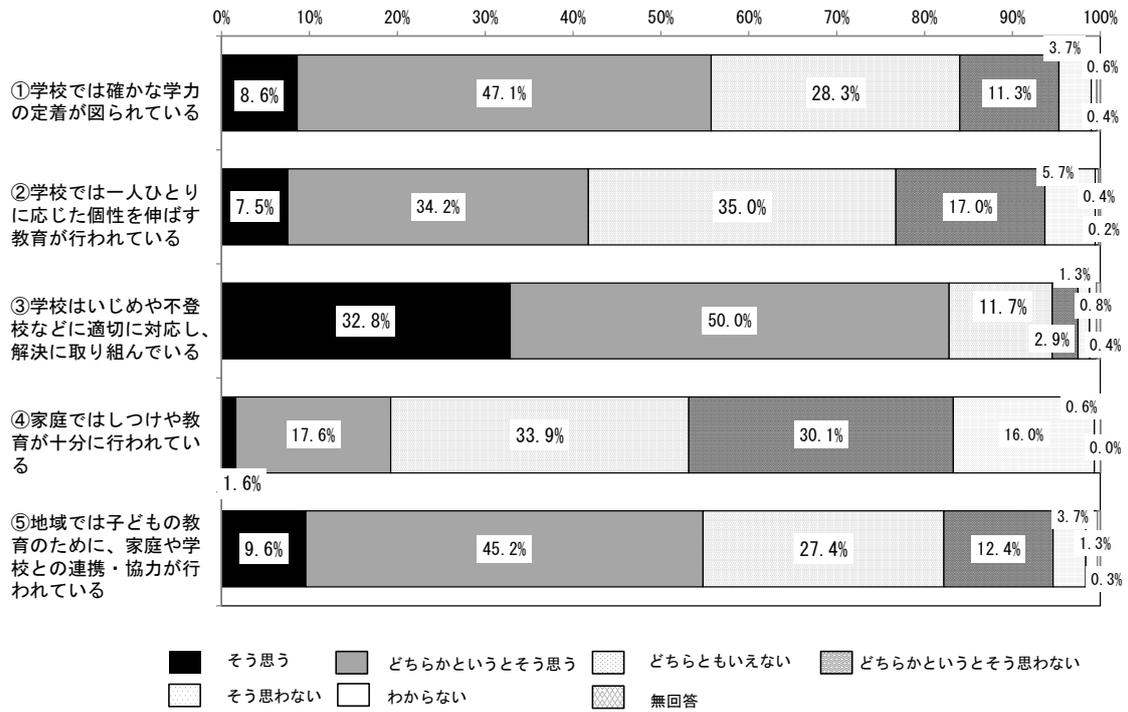


図 III-2 学校・家庭・地域での教育課題(保護者 n=3,632)

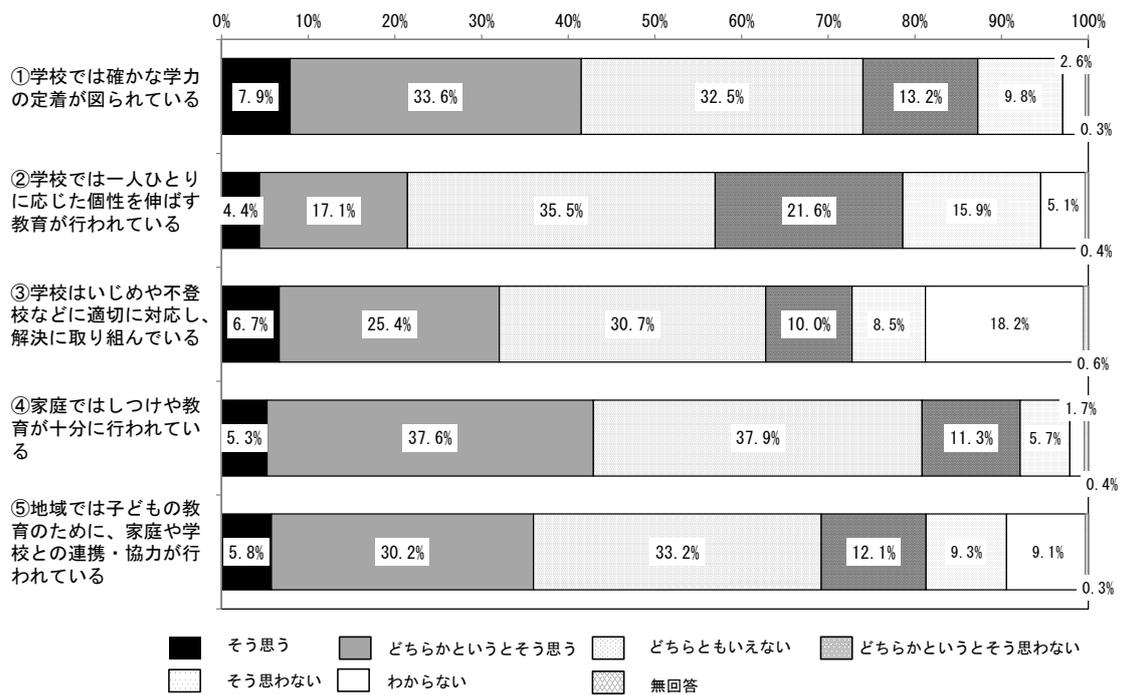


図 III-3 学校・家庭・地域での教育課題(学校評議員 n=534)

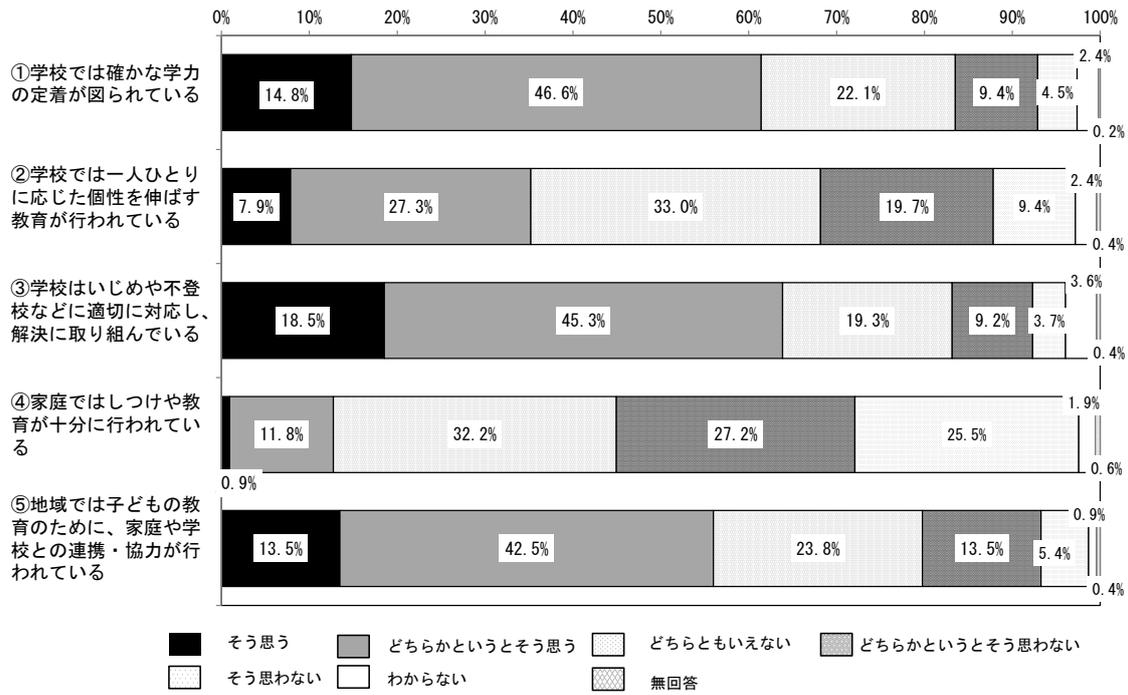
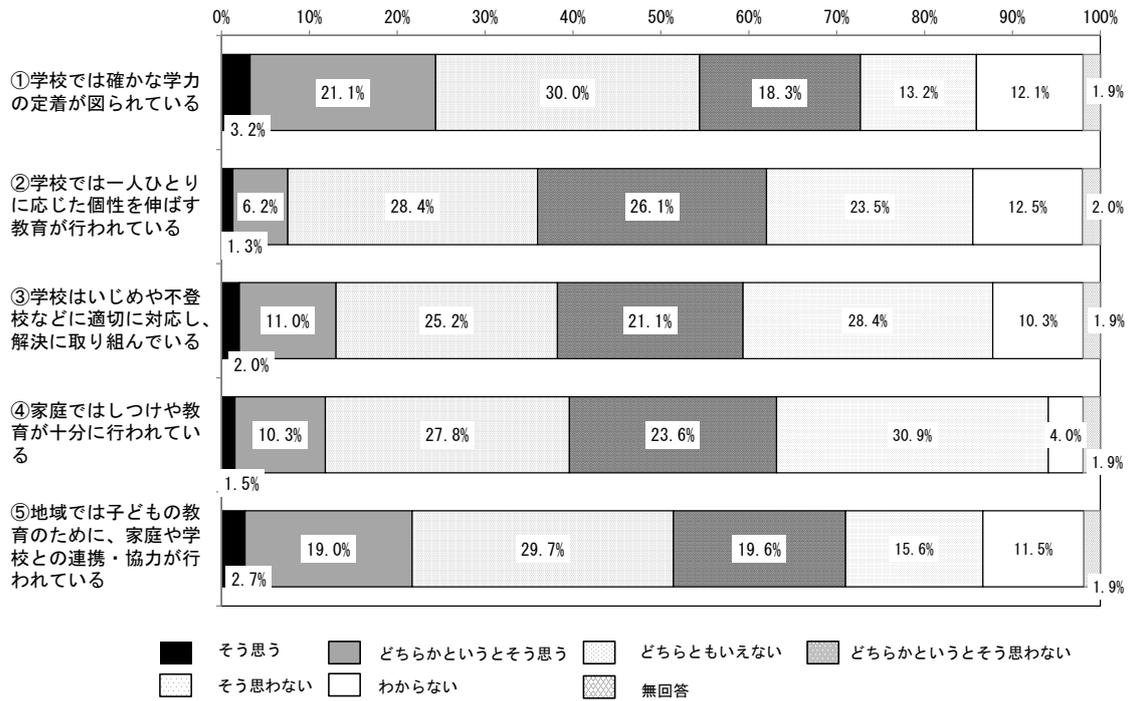


図 III-4 学校・家庭・地域での教育課題(一般県民 n=1,233)



『学校・家庭・地域での教育課題』について、回答の割合が高かった項目を平成 17 年度調査結果と比較すると、教職員の回答は平成 25 年度調査では「学校はいじめや不登校などに適切に対応し、解決に取り組んでいる」（「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計。以下同じ。82.8%）、「学校では確かな学力の定着が図られている」（55.7%）、「地域では児童・生徒の教育のために、家庭や学校との連携・協力が行われている」（54.8%）であり、平成 17 年度調査では「学校はいじめや不登校などに適切に対応し、解決に取り組んでいる」（75.3%）、「地域では児童・生徒の教育のために、家庭や学校との連携・協力が行われている」（50.5%）、「学校では確かな学力の定着が図られている」（41.8%）であった。

保護者の回答は平成 25 年度調査では「家庭ではしつけや教育が十分に行われている」（42.9%）、「学校では確かな学力の定着が図られている」（41.5%）、「地域では子どもの教育のために、家庭や学校との連携・協力が行われている」（36.0%）であり、平成 17 年度調査では「家庭ではしつけや教育が十分に行われている」（34.7%）、「地域では子どもの教育のために、家庭や学校との連携・協力が行われている」（28.4%）、「学校では確かな学力の定着が図られている」（26.8%）であった。

学校評議員の回答は平成 25 年度調査では「学校はいじめや不登校などに適切に対応し、解決に取り組んでいる」（63.8%）、「学校では確かな学力の定着が図られている」（61.4%）、「地域では子どもの教育のために、家庭や学校との連携・協力が行われている」（56.0%）であり、平成 17 年度調査では「学校はいじめや不登校などに適切に対応し、解決に取り組んでいる」（54.5%）、「地域では子どもの教育のために、家庭や学校との連携・協力が行われている」（48.4%）、「学校では確かな学力の定着が図られている」（46.4%）であった。

一般県民の回答は平成 25 年度調査では「学校では確かな学力の定着が図られている」（24.3%）、「地域では子どもの教育のために、家庭や学校との連携・協力が行われている」（21.7%）、「学校はいじめや不登校などに適切に対応し、解決に取り組んでいる」（13.0%）であり、平成 17 年度調査では「地域では子どもの教育のために、家庭や学校との連携・協力が行われている」（16.7%）、「学校では確かな学力の定着が図られている」（14.3%）、「家庭ではしつけや教育が十分に行われている」（9.5%）であった。（図Ⅲ-5～24 参照）

図 III-5 学校・家庭・地域での教育課題

①学校では確かな学力の定着が図られている

（教職員 平成 25 年度 n=2,046、平成 17 年度 n=1,863）

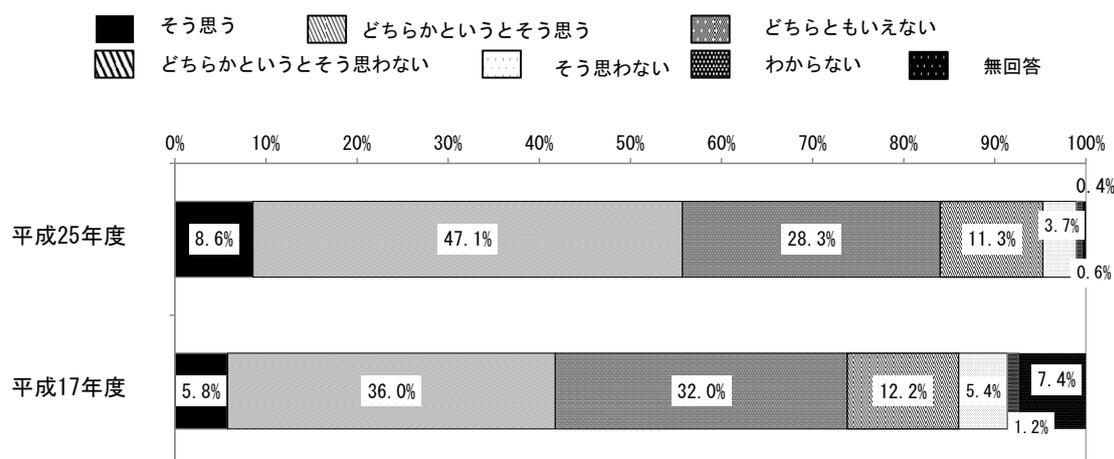


図 III-6 学校・家庭・地域での教育課題

②学校では一人ひとりに応じた個性を伸ばす教育が行われている

(教職員 平成 25 年度 n=2,046、平成 17 年度 n=1,863)

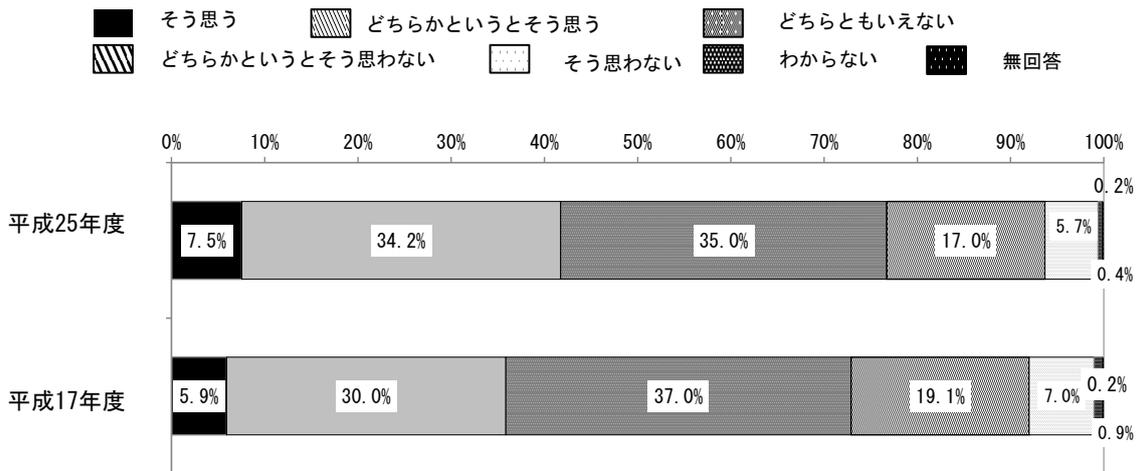


図 III-7 学校・家庭・地域での教育課題

③学校はいじめや不登校などに適切に対応し、解決に取り組んでいる

(教職員 平成 25 年度 n=2,046、平成 17 年度 n=1,863)

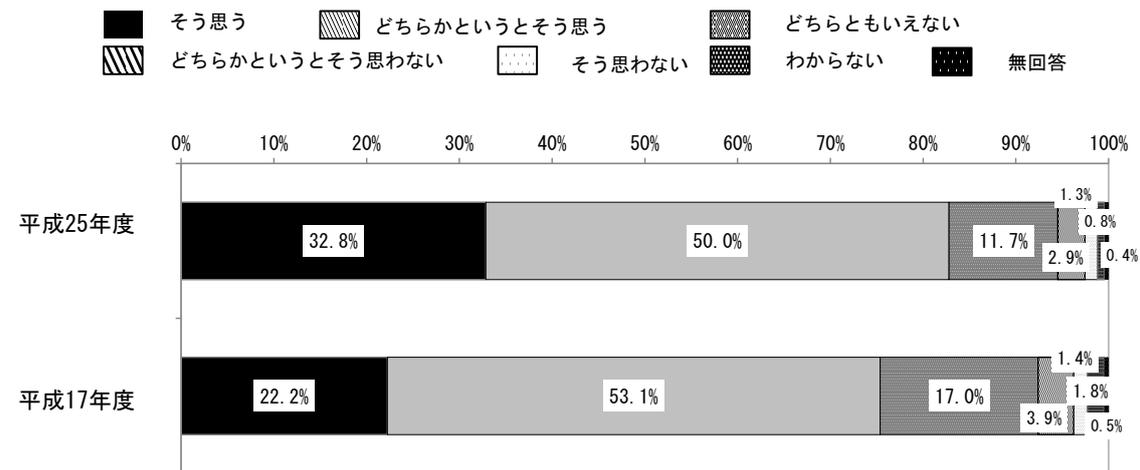


図 III-8 学校・家庭・地域での教育課題

④家庭ではしつけや教育が十分に行われている

(教職員 平成 25 年度 n=2,046、平成 17 年度 n=1,863)

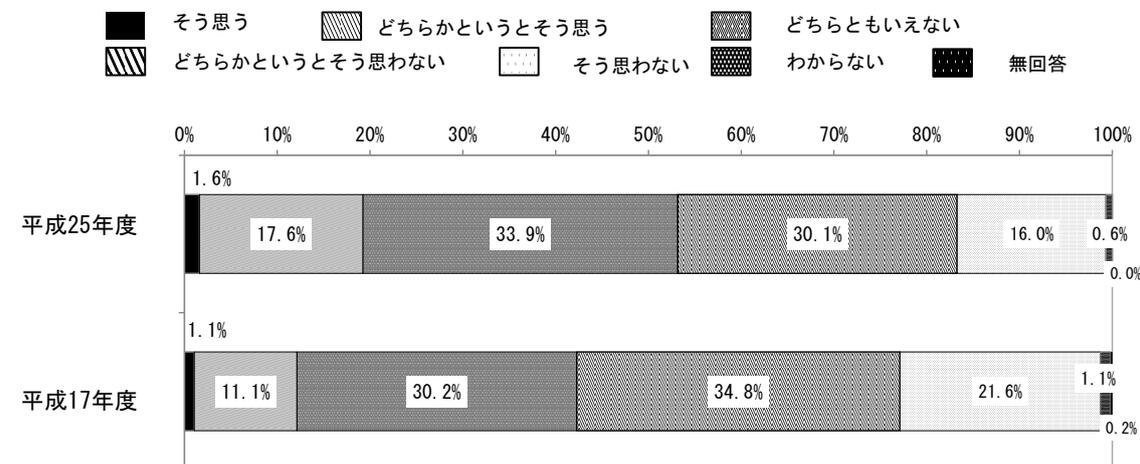


図 III-9 学校・家庭・地域での教育課題

⑤地域では児童・生徒の教育のために、家庭や学校との連携・協力が行われている
 (教職員 平成 25 年度 n=2,046、平成 17 年度 n=1,863)

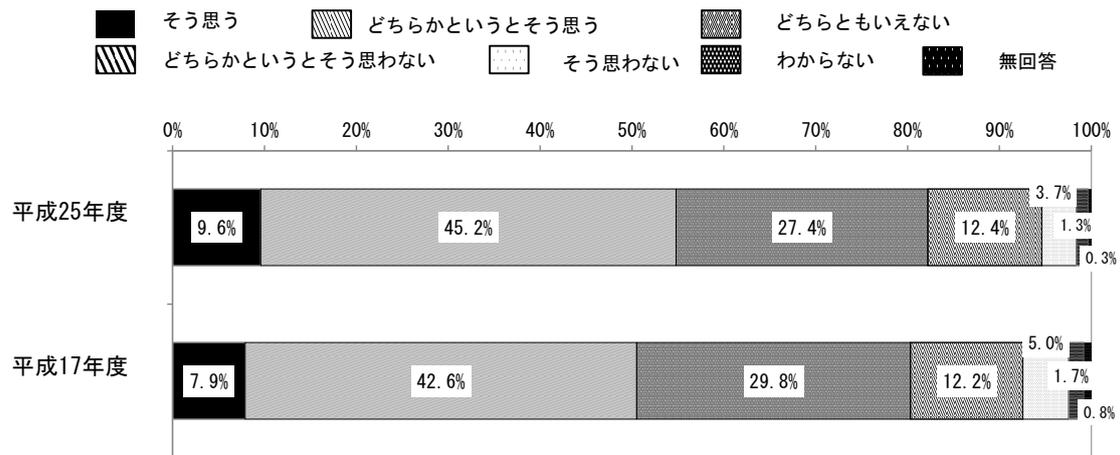


図 III-10

①学校では確かな学力の定着が図られている
 (保護者 平成 25 年度 n=3,632、平成 17 年度 n=3,876)

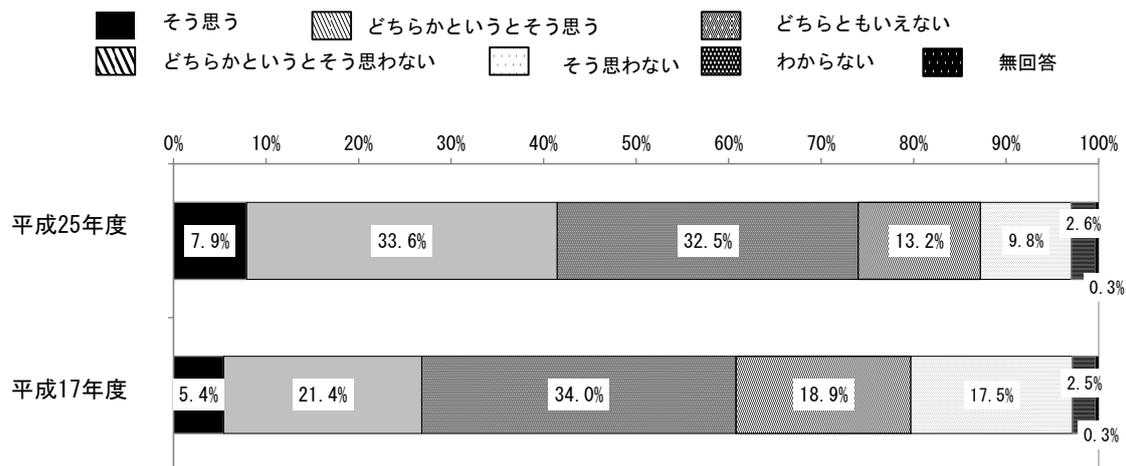


図 III-11

②学校では一人ひとりに応じた個性を伸ばす教育が行われている
 (保護者 平成 25 年度 n=3,632、平成 17 年度 n=3,876)

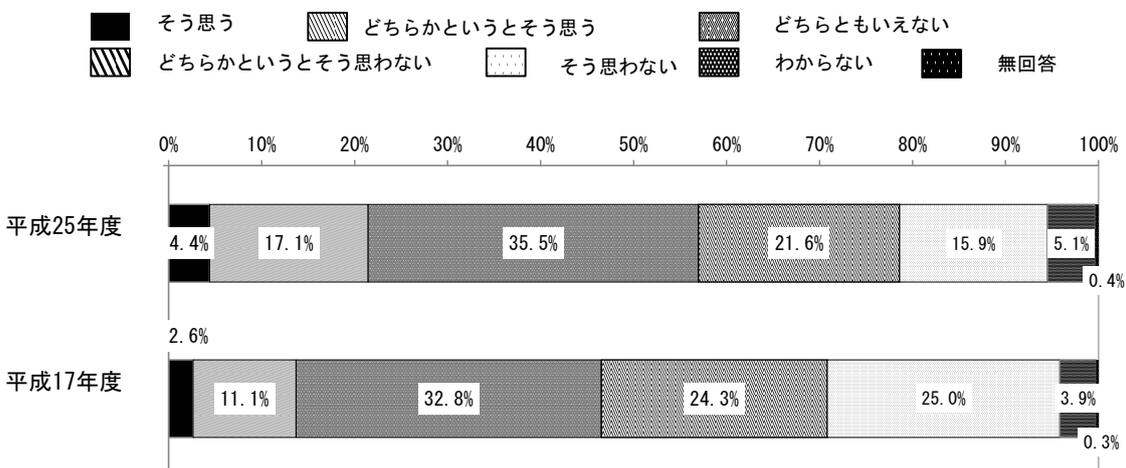


図 III-12

③学校はいじめや不登校などに適切に対応し、解決に取り組んでいる

(保護者 平成25年度 n=3,632、平成17年度 n=3,876)

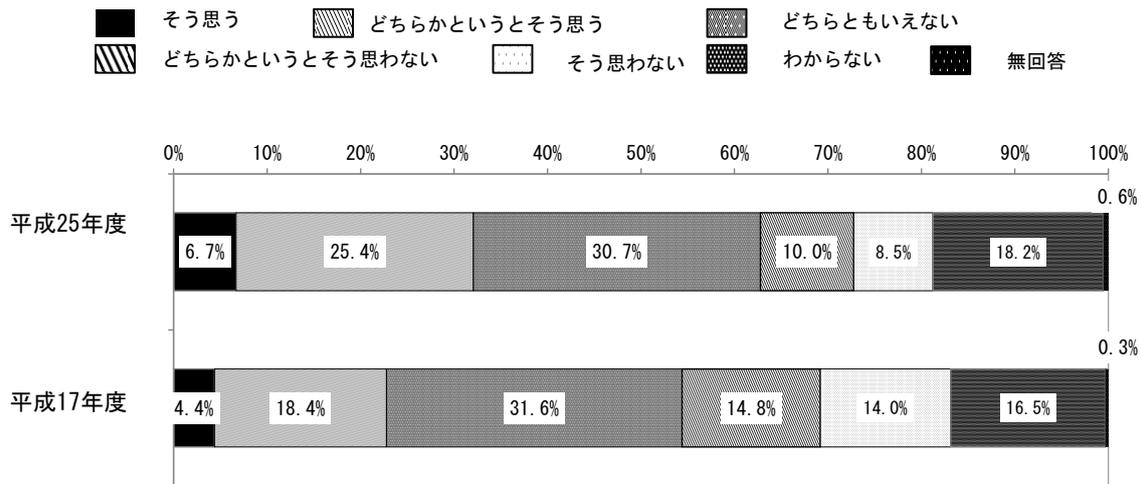


図 III-13

④家庭ではしつけや教育が十分に行われている

(保護者 平成25年度 n=3,632、平成17年度 n=3,876)

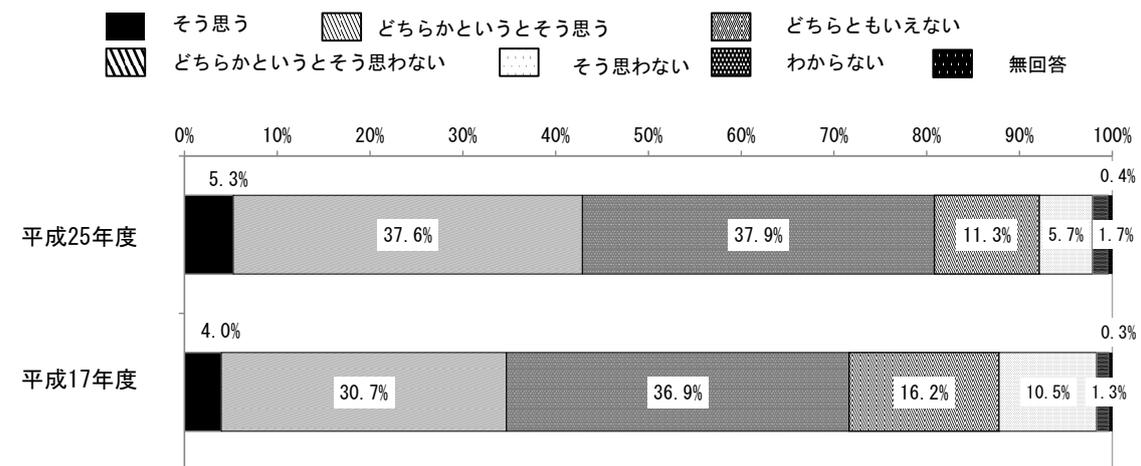


図 III-14

⑤地域では児童・生徒の教育のために、家庭や学校との連携・協力が行われている

(保護者 平成25年度 n=3,632、平成17年度 n=3,876)

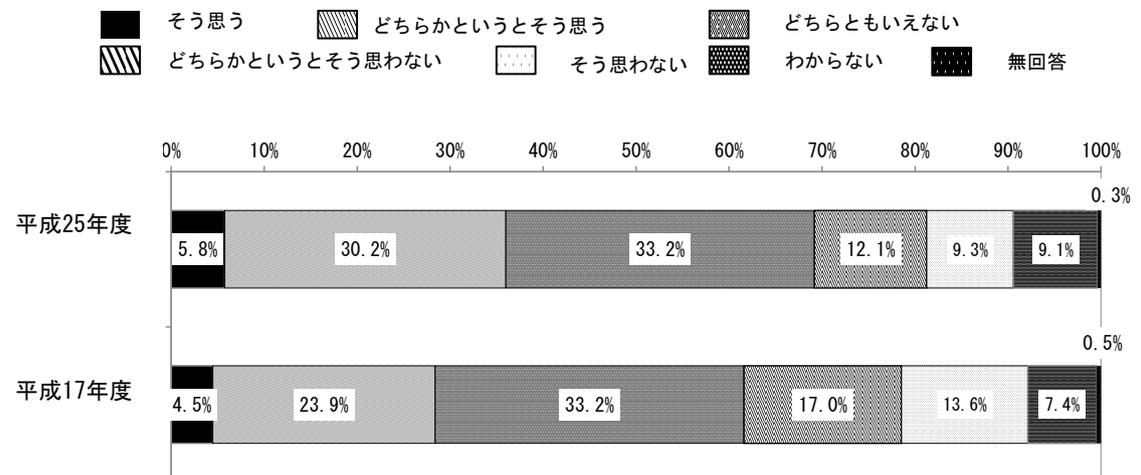


図 III-15

①学校では確かな学力の定着が図られている
(学校評議員 平成25年度 n=534、平成17年度 n=515)

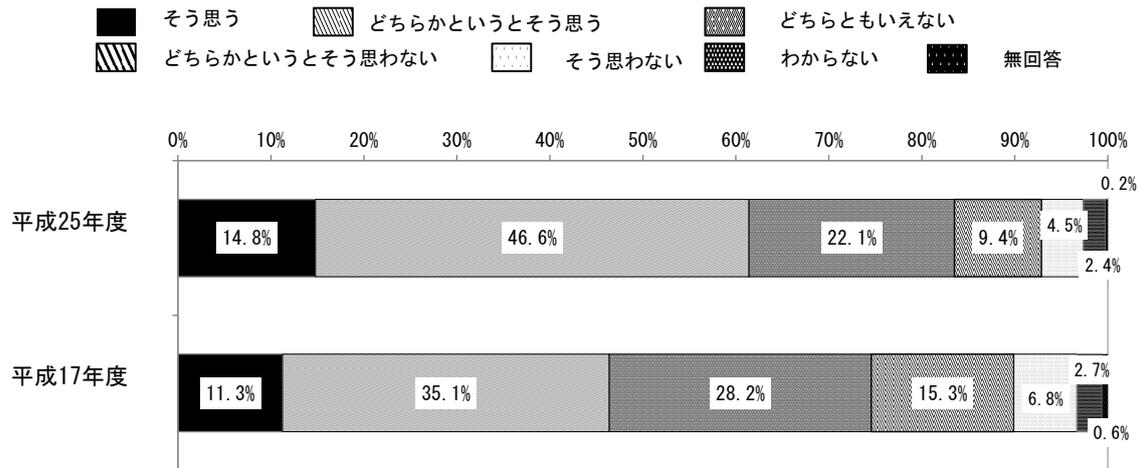


図 III-16

②学校では一人ひとりに応じた個性を伸ばす教育が行われている
(学校評議員 平成25年度 n=534、平成17年度 n=515)

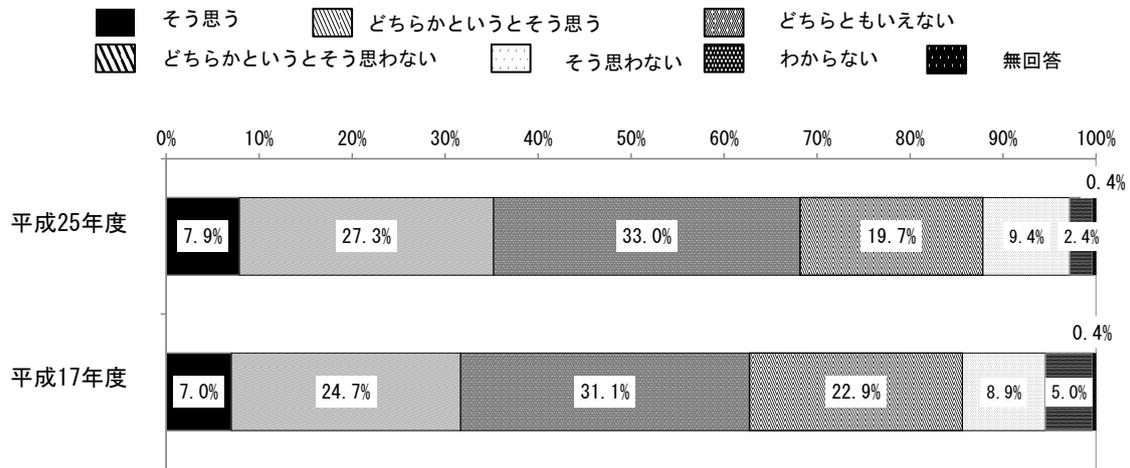


図 III-17

③学校はいじめや不登校などに適切に対応し、解決に取り組んでいる
(学校評議員 平成25年度 n=534、平成17年度 n=515)

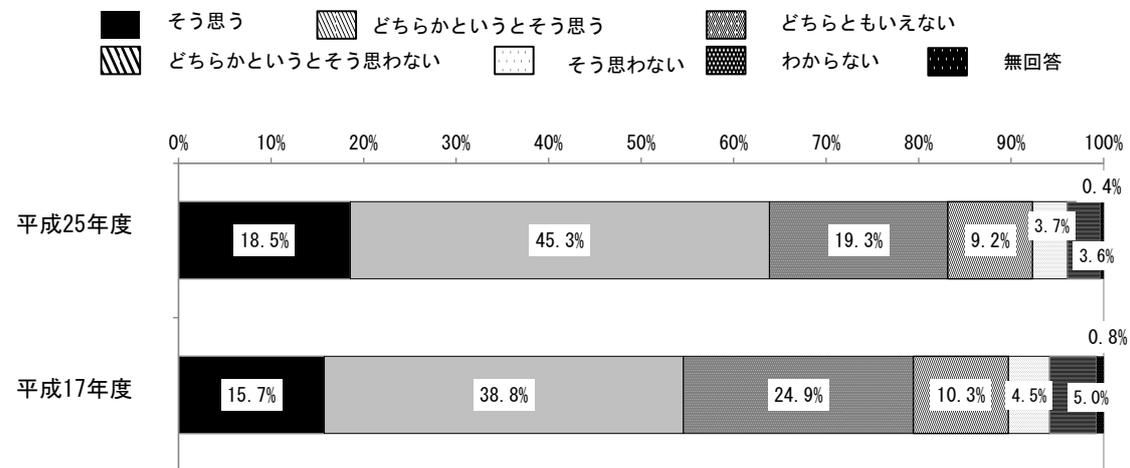


図 III-18

④家庭ではしつけや教育が十分に行われている
 (学校評議員 平成25年度 n=534、平成17年度 n=515)

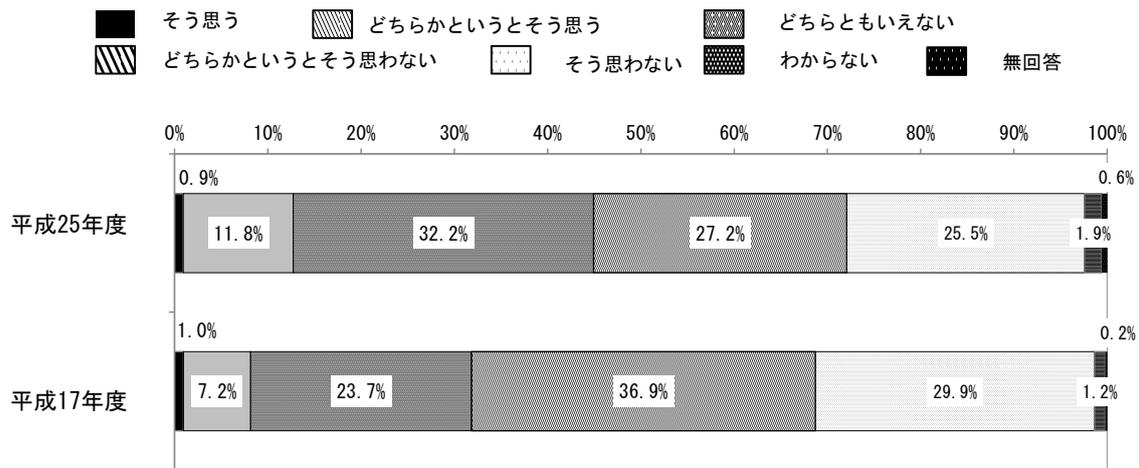


図 III-19

⑤地域では児童・生徒の教育のために、家庭や学校との連携・協力が行われている
 (学校評議員 平成25年度 n=534、平成17年度 n=515)

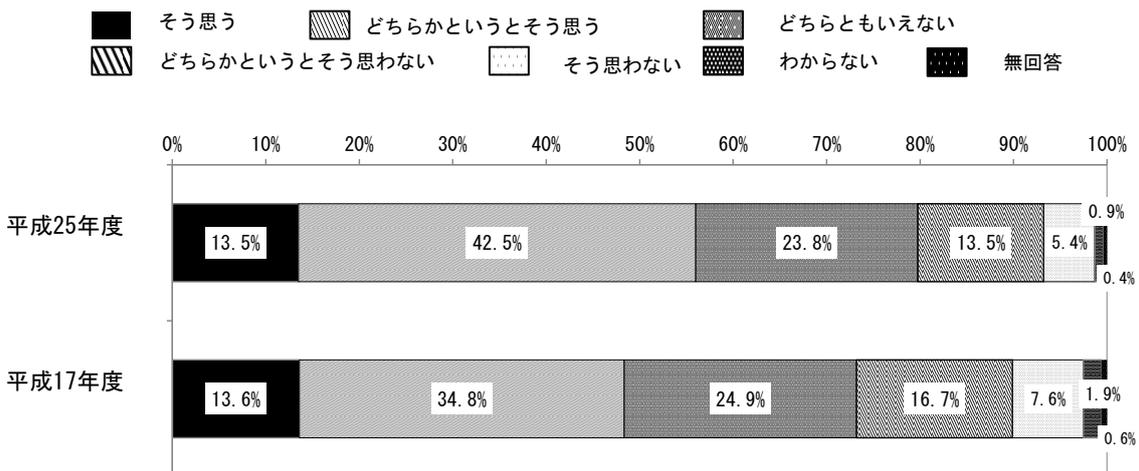


図 III-20

①学校では確かな学力の定着が図られている
 (一般県民 平成25年度 n=1,233、平成17年度 n=1,350)

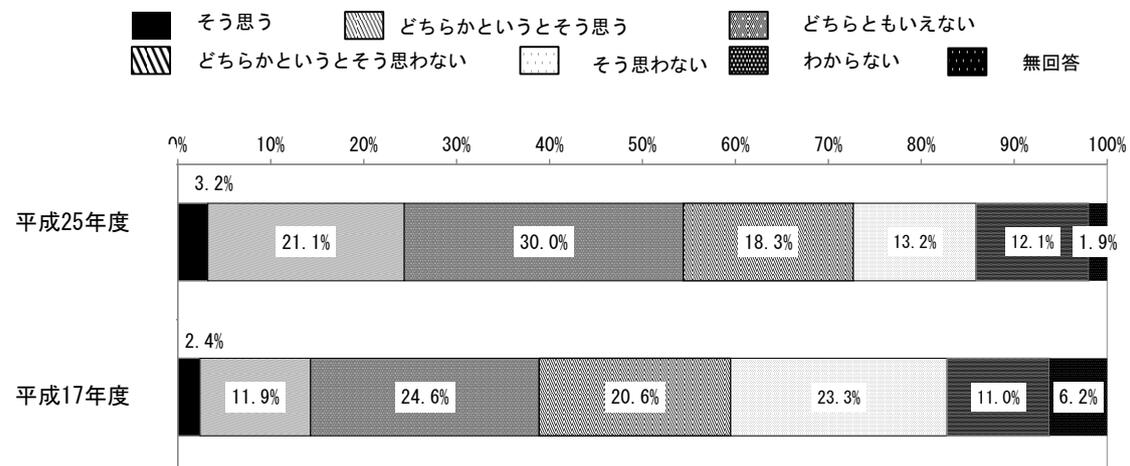


図 III-21

②学校では一人ひとりに応じた個性を伸ばす教育が行われている

(一般県民 平成25年度 n=1,233、平成17年度 n=1,350)

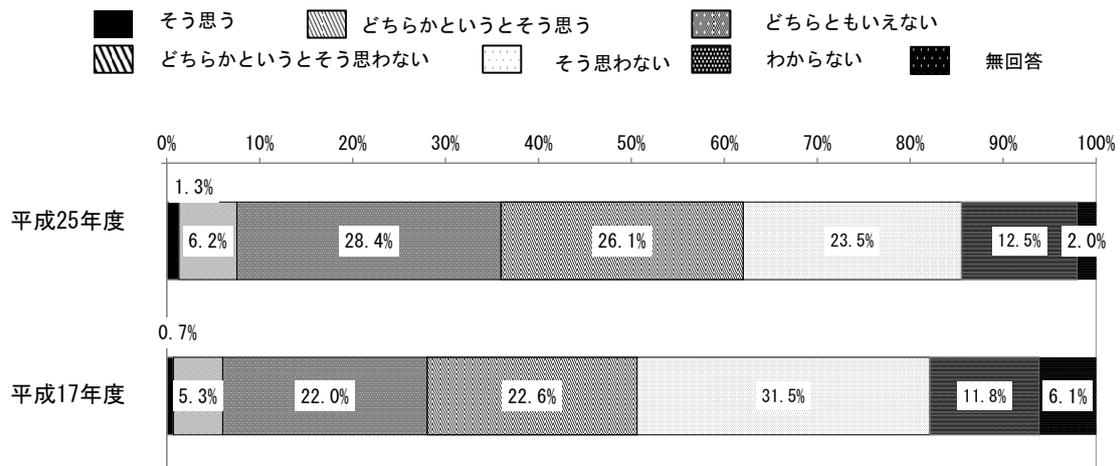


図 III-22

③学校はいじめや不登校などに適切に対応し、解決に取り組んでいる

(一般県民 平成25年度 n=1,233、平成17年度 n=1,350)

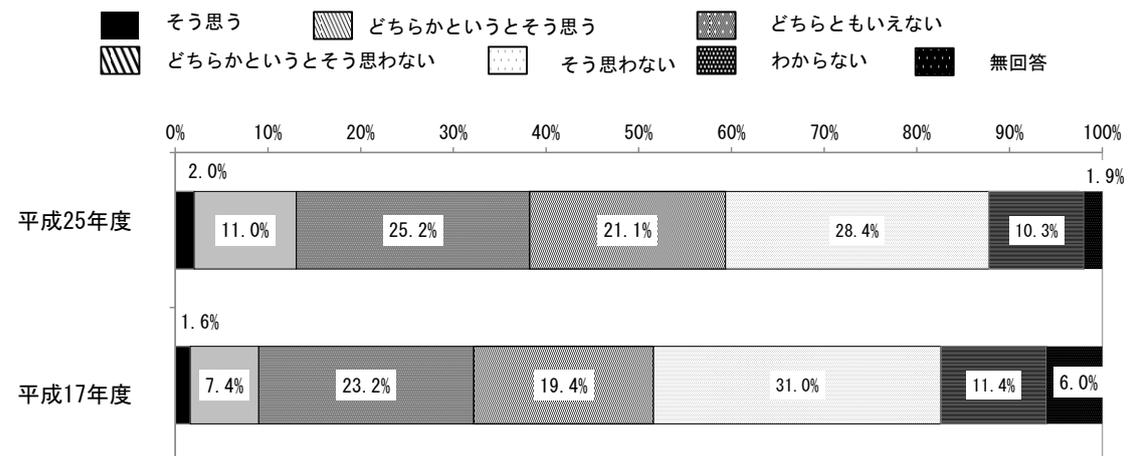


図 III-23

④家庭ではしつけや教育が十分に行われている

(一般県民 平成25年度 n=1,233、平成17年度 n=1,350)

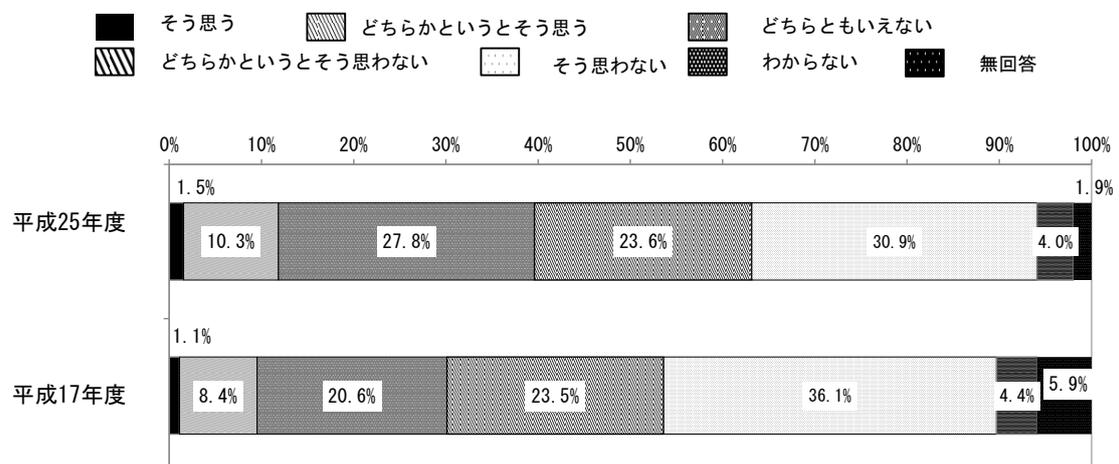
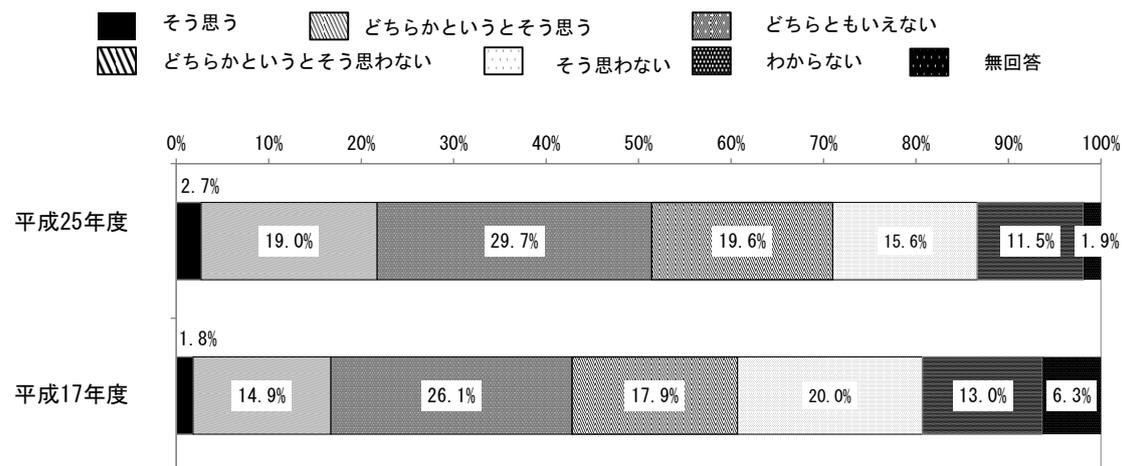


図 III-24

⑤地域では児童・生徒の教育のために、家庭や学校との連携・協力が行われている
 (一般県民 平成25年度 n=1,233、平成17年度 n=1,350)



III - 2 学校の役割・家庭の役割

教職員、保護者、学校評議員、一般県民に対して、それぞれの項目ごとに「児童・生徒に身につけさせるのは、学校と家庭のどちらの役割か」を聞いたところ、家庭の役割と回答した割合が最も高かったのはいずれにおいても「基本的な生活習慣」（「主として家庭」と「どちらかという家庭」の合計。以下同じ）であり、教職員では「社会のルールやマナー」、「知識や感性・情操などを育む読書の習慣」と続き、保護者、学校評議員及び一般県民では「人を思いやる心」、「社会のルールやマナー」と続いている。

一方、学校の役割と回答した割合が高かったのは、教職員では「友だちをつくり、人間関係を築く力」、「学ぶ意欲や学習の習慣」、「将来の職業に役立つ知識・技能」であり、保護者では「友だちをつくり、人間関係を築く力」、「受験に必要な学力」、「将来の職業に役立つ知識・技能」であった。また、学校評議員では、「受験に必要な学力」、「将来の職業に役立つ知識・技能」、「友だちをつくり、人間関係を築く力」であった。一般県民では「受験に必要な学力」と「将来の職業に役立つ知識・技能」は共に最も割合が高く、「友だちをつくり、人間関係を築く力」が続いている。

「家庭の役割」であると回答した割合の最も高い項目について平成 17 年度調査結果と比較すると、いずれの調査においても、また教職員、保護者、学校評議員、一般県民のいずれにおいても、「基本的な生活習慣」（「主として家庭」と「どちらかという家庭」の合計。以下同じ）との回答が最も割合が高かった。その割合は、教職員の回答は平成 25 年度調査では 97.7%、平成 17 年度調査では 94.1%であり、保護者の回答は平成 25 年度調査では 97.9%、平成 17 年度調査では 98.2%、学校評議員の回答は平成 25 年度調査では 99.4%、平成 17 年度調査では 98.9%、一般県民の回答は平成 25 年度調査では 95.9%、平成 17 年度調査では 91.9%であった。

一方、「学校の役割」であると回答した割合の最も高い項目について平成 17 年度調査結果と比較すると、教職員の回答は平成 25 年度調査では「友だちをつくり、人間関係を築く力」（「主として学校」と「どちらかという学校」の合計。以下同じ。86.3%）であり、平成 17 年度調査では「学ぶ意欲や学習の習慣」（85.8%）であった。保護者の回答は平成 25 年度調査では「友だちをつくり、人間関係を築く力」（81.1%）であり、平成 17 年度調査では「受験に必要な学力」（84.4%）であった。学校評議員では、いずれの調査においても「受験に必要な学力」との回答の割合が最も高く、平成 25 年度調査では 85.0%、平成 17 年度調査では 90.1%であった。一般県民の回答は平成 25 年度調査では「受験に必要な学力」と「将来の職業に役立つ知識・技能」（いずれも 82.7%）であり、平成 17 年度調査では「受験に必要な学力」（83.1%）であった。

『学校の役割・家庭の役割』について教職員、保護者、学校評議員及び一般県民に聞いたところ、家庭の役割と回答した割合が最も高かったのはいずれにおいても「基本的な生活習慣」（「主として家庭」と「どちらかという家庭」の合計。以下同じ。教職員：97.7%、保護者：97.9%、学校評議員：99.4%、一般県民：95.9%）であり、教職員では「社会のルールやマナー」（62.5%）、「知識や感性・情操などを育む読書の習慣」（59.6%）と続き、保護者、学校評議員及び一般県民では「人を思いやる心」（保護者：80.4%、学校評議員：83.7%、一般県民：83.2%）、「社会のルールやマナー」（保護者：80.2%、学校評議員：81.7%、一般県民：73.5%）と続いている。

一方、学校の役割と回答した割合が高かったのは、教職員では「友だちをつくり、人間関係を築く力」（86.3%）、「学ぶ意欲や学習の習慣」（85.0%）、「将来の職業に役立つ知識・技能」（83.0%）であり、保護者では「友だちをつくり、人間関係を築く力」（81.1%）、「受験に必要な学力」（80.2%）、「将来の職業に役立つ知識・技能」（78.8%）であった。また、学校評議員では、「受験に必要な学力」（85.0%）、「将来の職業に役立つ知識・技能」（84.9%）、「友だちをつくり、人間関係を築く力」（80.0%）の順に割合が高い。一般県民では「受験に必要な学力」と「将来の職業に役立つ知識・技能」は共に 82.7%で最も割合が高く、「友だちをつくり、人間関係を築く力」（80.8%）が続いている。（表Ⅲ-1, 2、図Ⅲ-25～28 参照）

表 III-1 主として(どちらかといえば)家庭の役割と考えるもの(上位5項目)

	教職員	保護者	学校評議員	一般県民
1位	基本的な生活習慣 97.7%	基本的な生活習慣 97.9%	基本的な生活習慣 99.4%	基本的な生活習慣 95.9%
2位	社会のルールやマナー 62.5%	人を思いやる心 80.4%	人を思いやる心 83.7%	人を思いやる心 83.2%
3位	知識や感性・情操などを育む読書の習慣 59.6%	社会のルールやマナー 80.2%	社会のルールやマナー 81.7%	社会のルールやマナー 73.5%
4位	人を思いやる心 56.3%	知識や感性・情操などを育む読書の習慣 61.5%	知識や感性・情操などを育む読書の習慣 63.5%	知識や感性・情操などを育む読書の習慣 59.3%
5位	音楽や美術など芸術的な感性や能力 35.4%	ものごとをやりとげるねばり強さ 48.9%	ものごとをやりとげるねばり強さ 56.2%	ものごとをやりとげるねばり強さ 52.0%

表 III-2 主として(どちらかといえば)学校の役割と考えるもの(上位5項目)

	教職員	保護者	学校評議員	一般県民
1位	友だちをつくり、人間関係を築く力 86.3%	友だちをつくり、人間関係を築く力 81.1%	受験に必要な学力 85.0%	受験に必要な学力 将来の職業に役立つ知識・技能
2位	学ぶ意欲や学習の習慣 85.0%	受験に必要な学力 80.2%	将来の職業に役立つ知識・技能 84.9%	82.7%
3位	将来の職業に役立つ知識・技能 83.0%	将来の職業に役立つ知識・技能 78.8%	友だちをつくり、人間関係を築く力 80.0%	友だちをつくり、人間関係を築く力 80.8%
4位	受験に必要な学力 76.5%	英会話など実践的な語学力 73.9%	英会話など実践的な語学力 77.0%	英会話など実践的な語学力 77.2%
5位	将来や進路について考える力 74.3%	学ぶ意欲や学習の習慣 73.8%	学ぶ意欲や学習の習慣 76.6%	学ぶ意欲や学習の習慣 72.0%

図 III-25 学校の役割・家庭の役割(教職員 n=2,046)

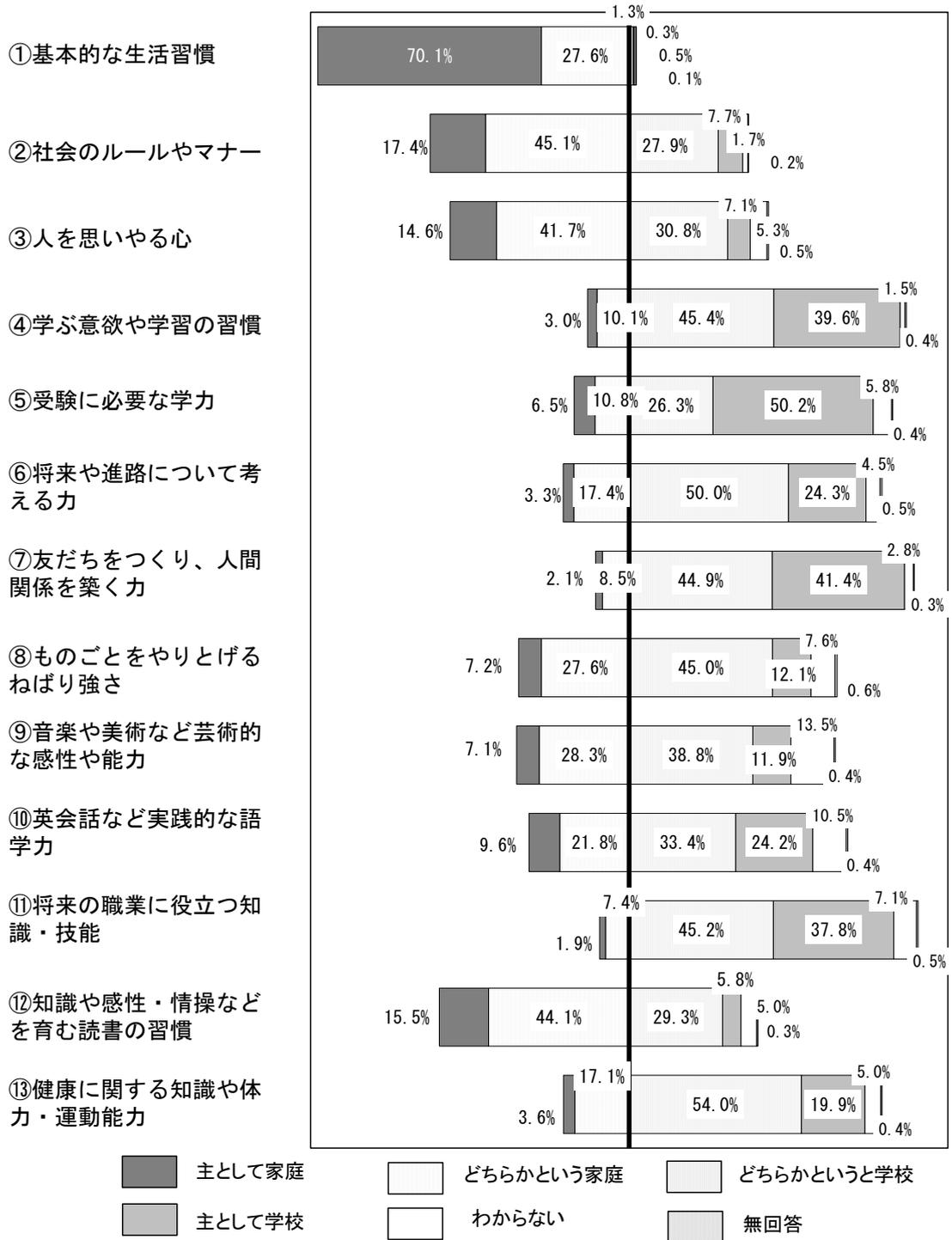


図 III-26 学校の役割・家庭の役割(保護者 n=3, 632)

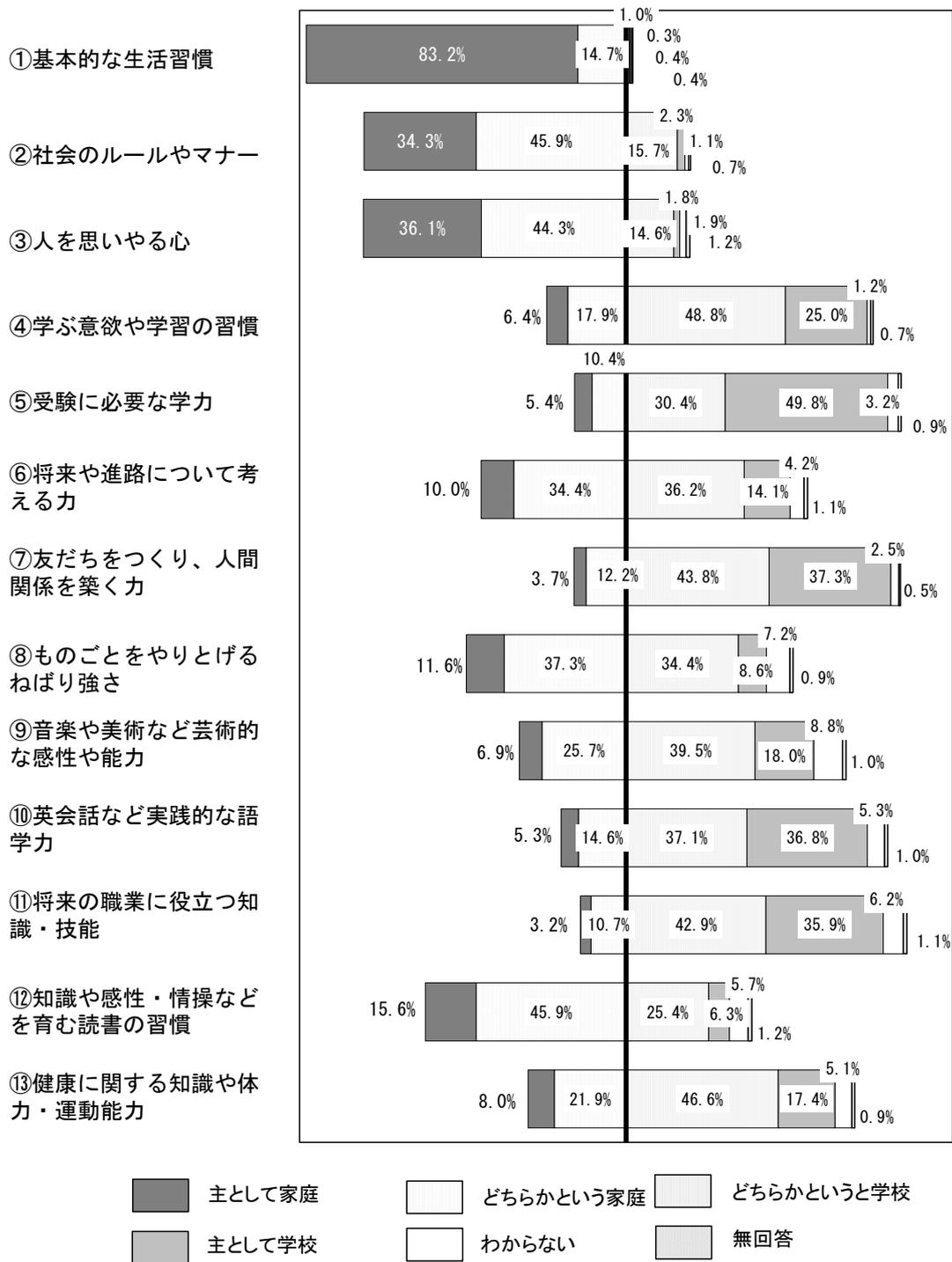


図 III-27 学校の役割・家庭の役割(学校評議員 n=534)

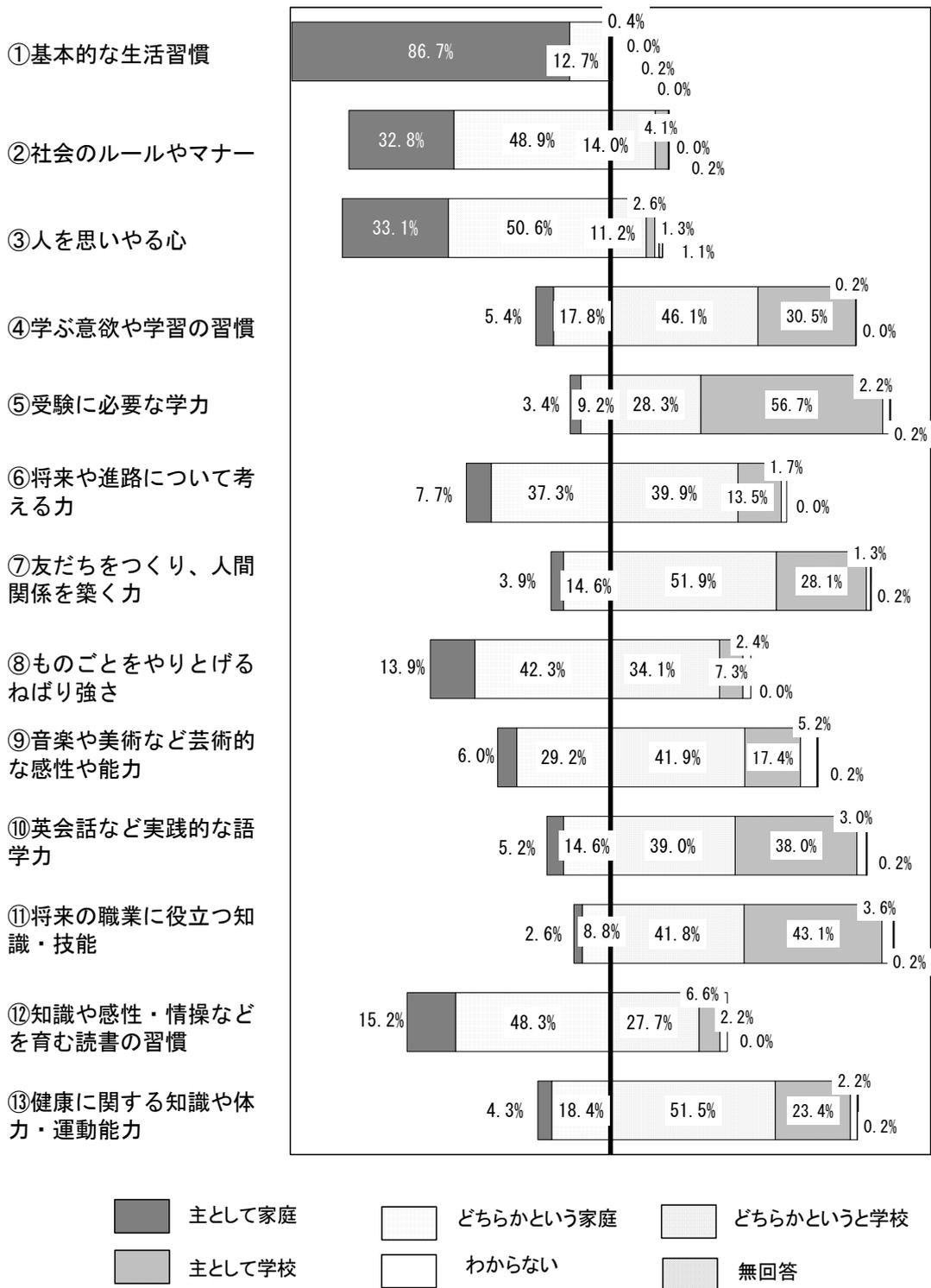
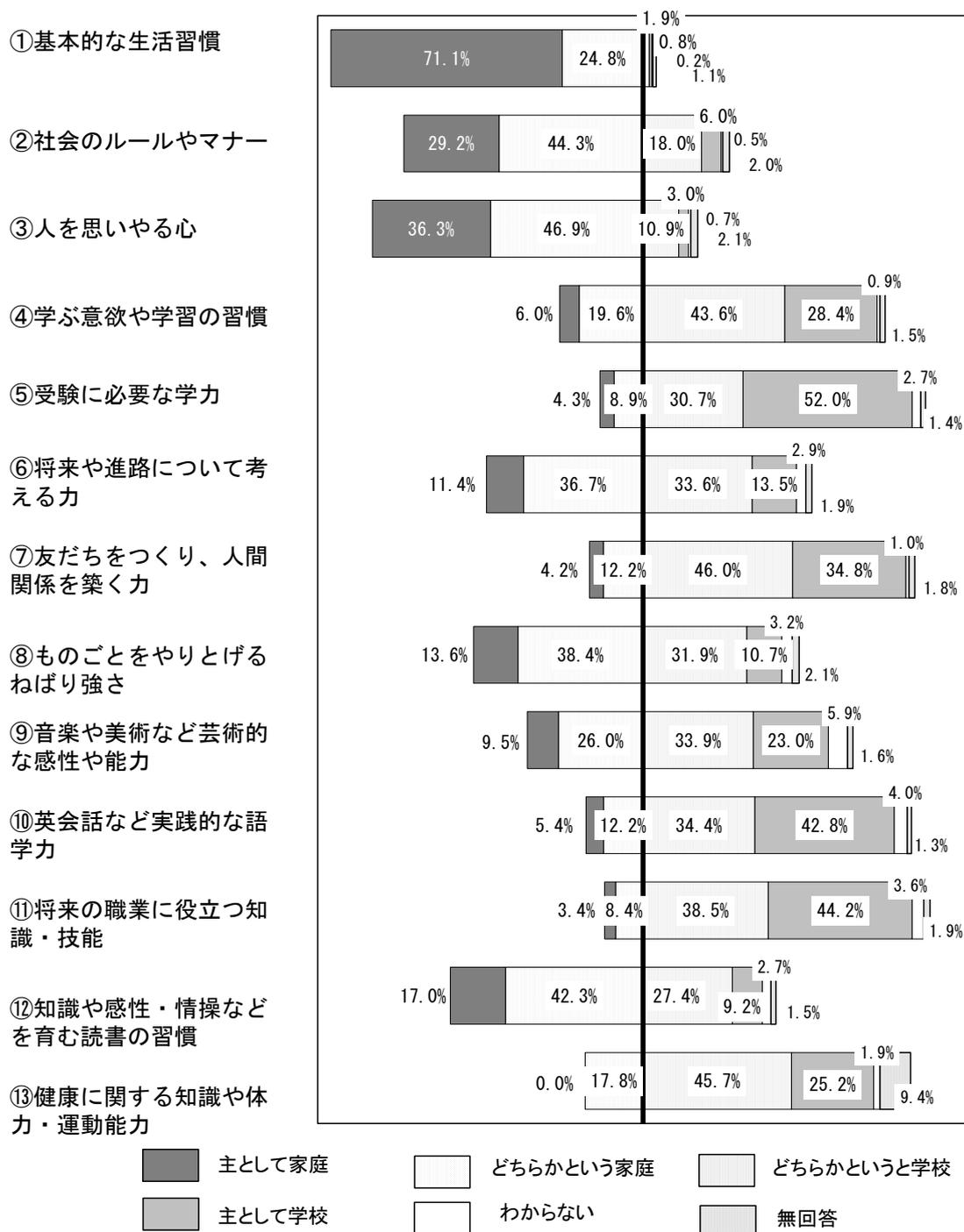


図 III-28 学校の役割・家庭の役割(一般県民 n=1,233)



「家庭の役割」であると回答した割合の高い項目について平成 17 年度調査結果と比較すると、教職員の回答は平成 25 年度調査では「基本的な生活習慣」（「主として家庭」と「どちらかという和家庭」の合計。以下同じ。97.7%）、「社会のルールやマナー」（62.5%）、「知識や感性・情操などを育む読書の習慣」（59.6%）であり、平成 17 年度調査では「基本的な生活習慣」（94.1%）、「社会のルールやマナー」（67.0%）、「人を思いやる心」（66.1%）であった。保護者の回答は平成 25 年度調査では「基本的な生活習慣」（97.9%）、「人を思いやる心」（80.4%）、「社会のルールやマナー」（80.2%）であり、平成 17 年度調査では「基本的な生活習慣」（98.2%）、「人を思いやる心」（84.0%）、「社会のルールやマナー」（80.7%）であった。学校評議員の回答は平成 25 年度調査では「基本的な生活習慣」（99.4%）、「人を思いやる心」（83.7%）、「社会のルールやマナー」（81.7%）であり、平成 17 年度調査では「基本的な生活習慣」（98.9%）、「人を思いやる心」（81.3%）、「社会のルールやマナー」（78.7%）であった。一般県民の回答は平成 25 年度調査では「基本的な生活習慣」（95.9%）、「人を思いやる心」（83.2%）、「社会のルールやマナー」（73.5%）であり、平成 17 年度調査では「基本的な生活習慣」（91.9%）、「人を思いやる心」（80.6%）、「社会のルールやマナー」（70.2%）であった。

一方、「学校の役割」であると回答した割合の高い項目について平成 17 年度調査結果と比較すると、教職員の回答は平成 25 年度調査では「友だちをつくり、人間関係を築く力」（「主として学校」と「どちらかという和学校」の合計。以下同じ。86.3%）、「学ぶ意欲や学習の習慣」（85.0%）、「将来の職業に役立つ知識・技能」（83.0%）であり、平成 17 年度調査では「学ぶ意欲や学習の習慣」（85.8%）、「将来の職業に役立つ知識・技能」（84.7%）、「友だちをつくり、人間関係を築く力」（84.1%）であった。保護者の回答は平成 25 年度調査では「友だちをつくり、人間関係を築く力」（81.1%）、「受験に必要な学力」（80.2%）、「将来の職業に役立つ知識・技能」（78.8%）であり、平成 17 年度調査では「受験に必要な学力」（84.4%）、「友だちをつくり、人間関係を築く力」（79.6%）、「将来の職業に役立つ知識・技能」（79.0%）であった。学校評議員の回答は平成 25 年度調査では「受験に必要な学力」（85.0%）、「将来の職業に役立つ知識・技能」（84.9%）、「友だちをつくり、人間関係を築く力」（80.0%）であり、平成 17 年度調査では「受験に必要な学力」（90.1%）、「将来の職業に役立つ知識・技能」（86.0%）、「友だちをつくり、人間関係を築く力」（82.3%）であった。一般県民の回答は平成 25 年度調査では「受験に必要な学力」（82.7%）、「将来の職業に役立つ知識・技能」（82.7%）、「友だちをつくり、人間関係を築く力」（80.8%）であり、平成 17 年度調査では「受験に必要な学力」（83.1%）、「将来の職業に役立つ知識・技能」（79.0%）、「友だちをつくり、人間関係を築く力」（74.6%）であった。（図Ⅲ-29～78 参照）

図 III-29 学校の役割・家庭の役割

①基本的な生活習慣（教職員 平成 25 年度 n=2,046、平成 17 年度 n=1,863）

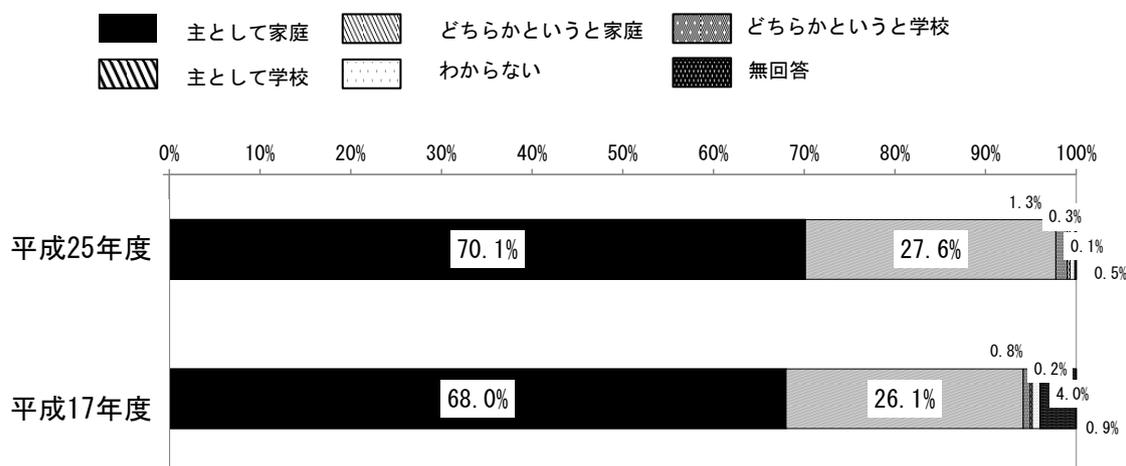


図 III-30 学校の役割・家庭の役割

②社会のルールやマナー（教職員 平成25年度 n=2,046、平成17年度 n=1,863）

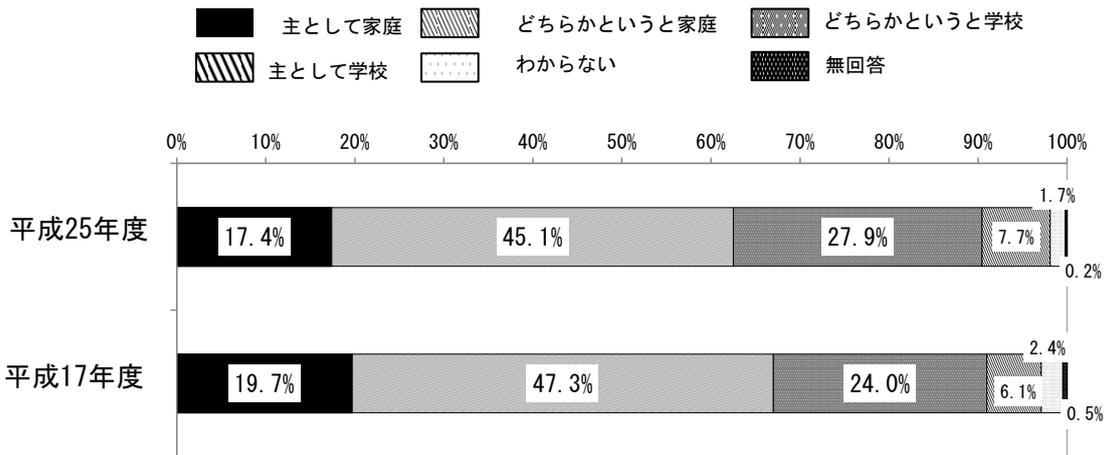


図 III-31 学校の役割・家庭の役割

③人を思いやる心（教職員 平成25年度 n=2,046、平成17年度 n=1,863）

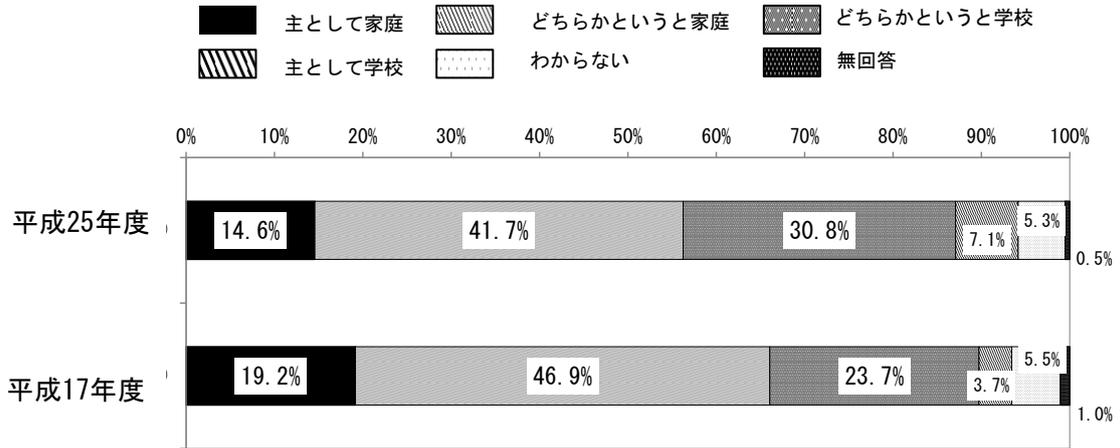


図 III-32 学校の役割・家庭の役割

④学ぶ意欲や学習の習慣（教職員 平成25年度 n=2,046、平成17年度 n=1,863）

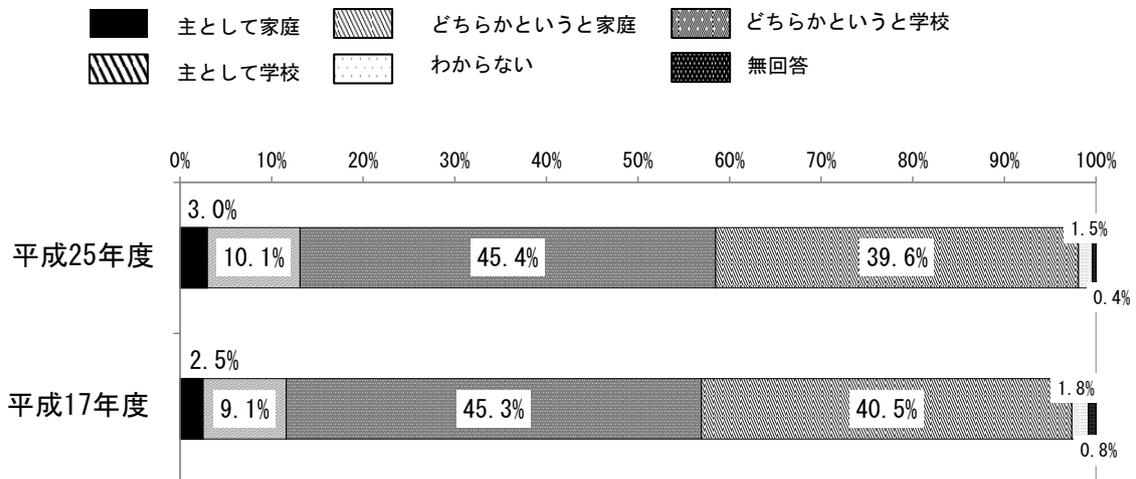


図 III-33 学校の役割・家庭の役割

⑤受験に必要な学力（教職員 平成25年度 n=2,046、平成17年度 n=1,863）

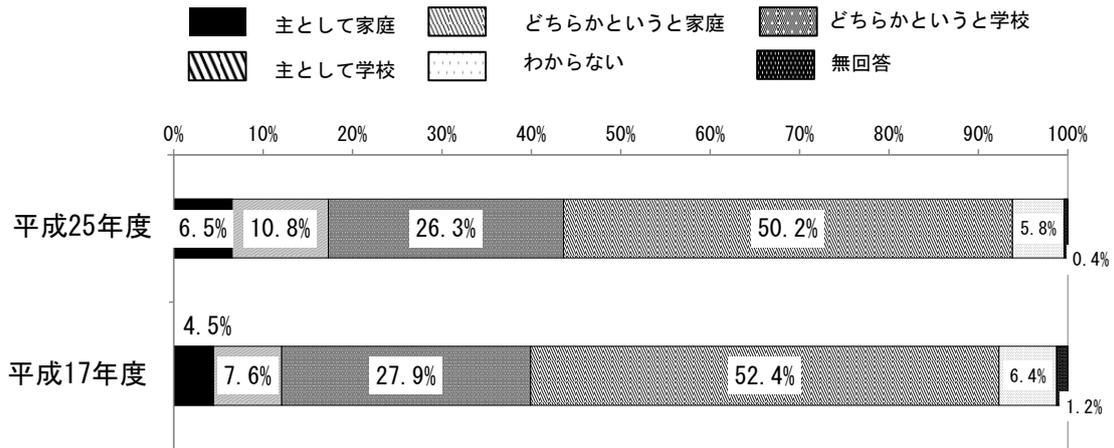


図 III-34 学校の役割・家庭の役割

⑥将来や進路について考える力（教職員 平成25年度 n=2,046、平成17年度 n=1,863）

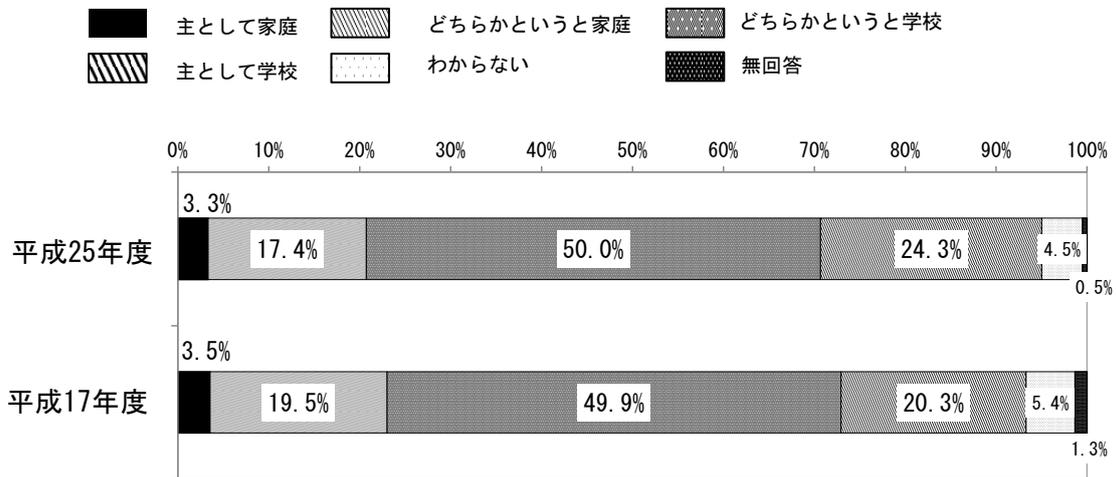


図 III-35 学校の役割・家庭の役割

⑦友だちをつくり、人間関係を築く力（教職員 平成25年度 n=2,046、平成17年度 n=1,863）

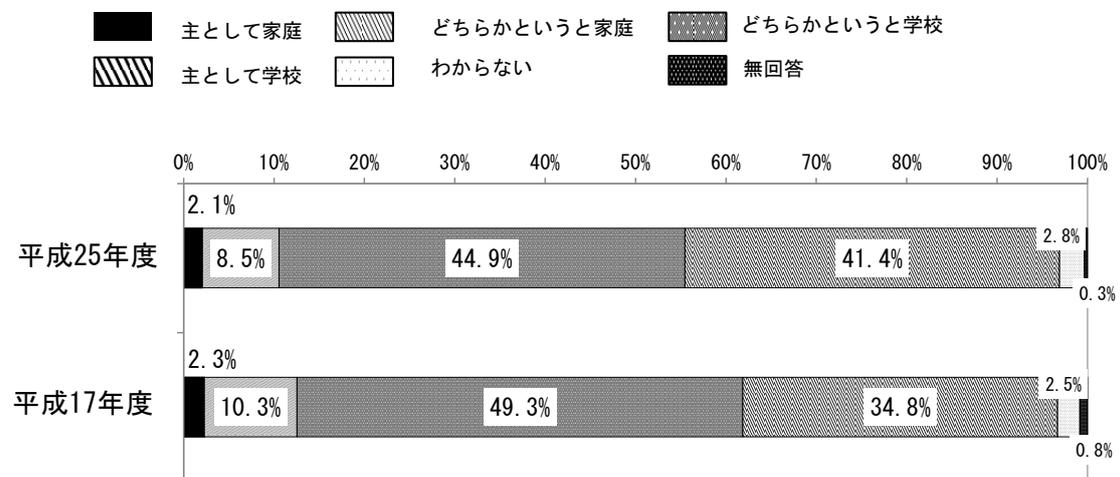


図 III-36 学校の役割・家庭の役割

⑧ものごとをやりとげるねばり強さ(教職員 平成25年度 n=2,046、平成17年度 n=1,863)

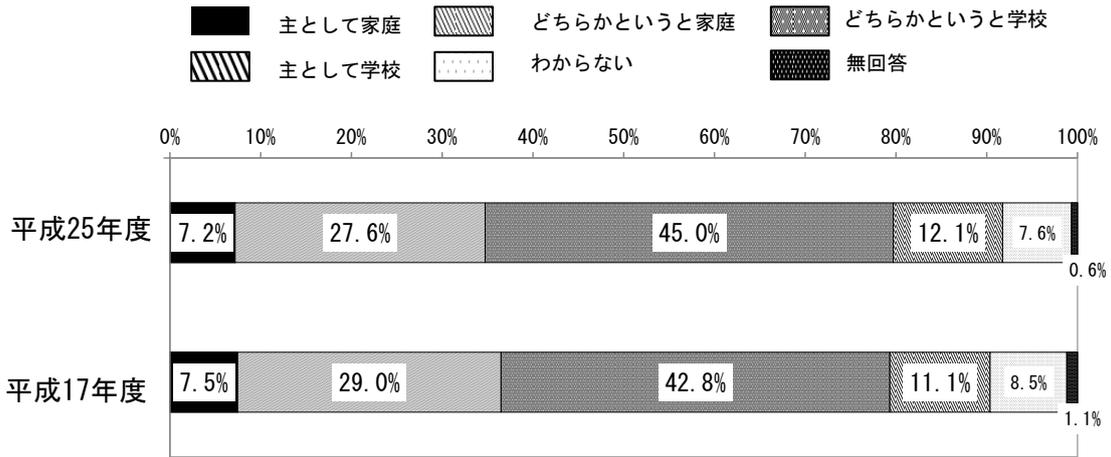


図 III-37 学校の役割・家庭の役割

⑨音楽や美術など芸術的な感性や能力(教職員 平成25年度 n=2,046、平成17年度 n=1,863)

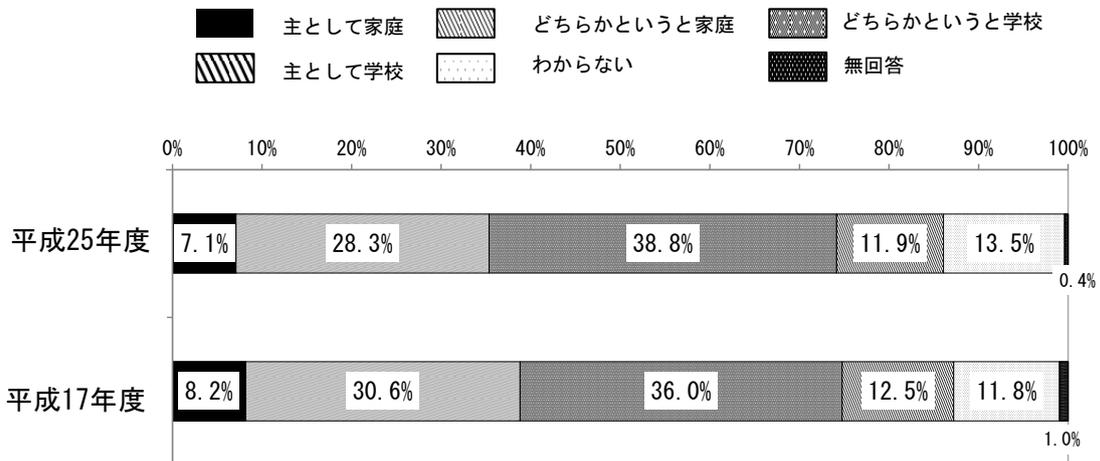


図 III-38 学校の役割・家庭の役割

⑩英会話など実践的な語学力(教職員 平成25年度 n=2,046、平成17年度 n=1,863)

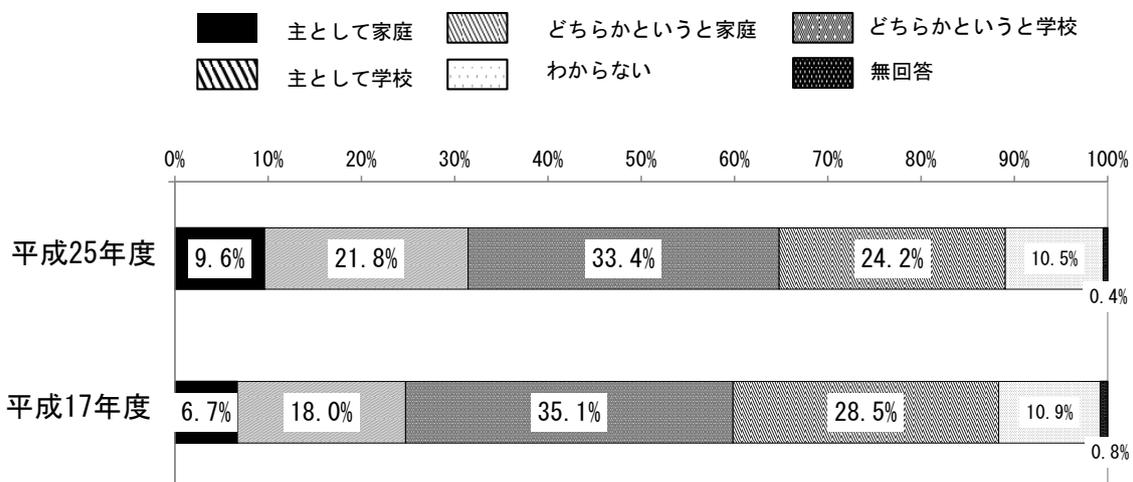


図 III-39 学校の役割・家庭の役割

⑪将来の職業に役立つ知識・技能(教職員 平成25年度 n=2,046、平成17年度 n=1,863)

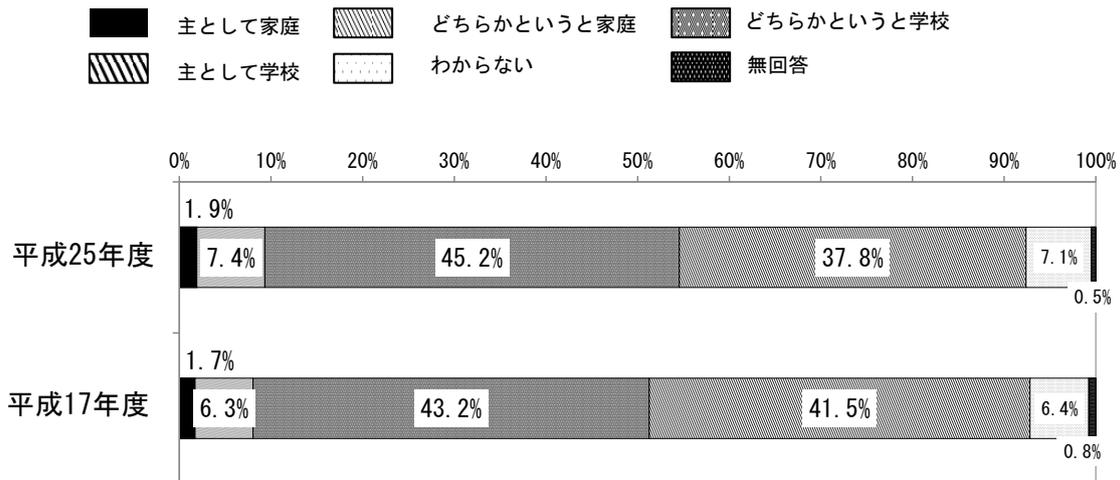


図 III-40 学校の役割・家庭の役割

⑫知識や感性・情操などを育む読書の習慣

(教職員 平成25年度 n=2,046、平成17年度 n=1,863)

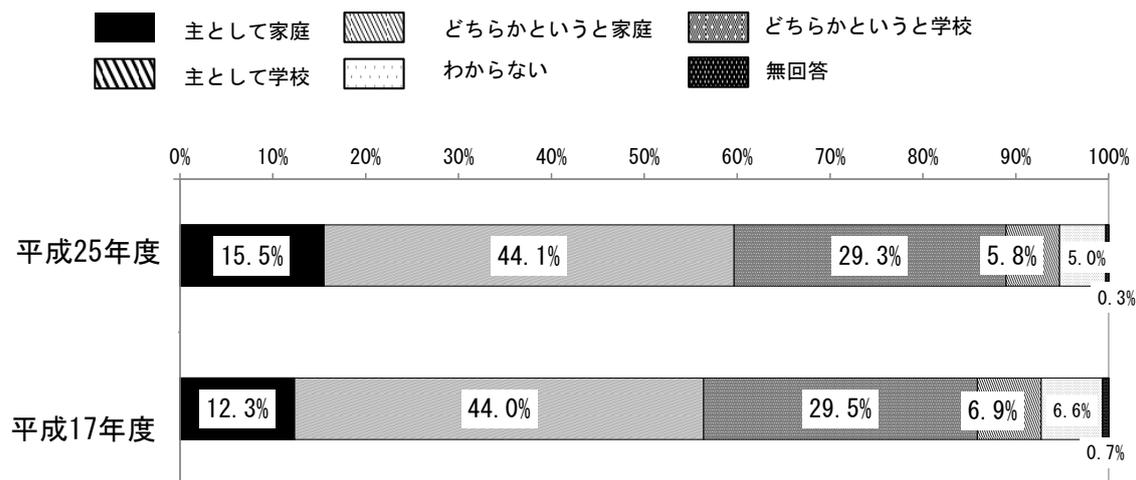


図 III-41 学校の役割・家庭の役割

⑬健康に関する知識や体力・運動能力(教職員 平成25年度 n=2,046、平成17年度 n=1,863)

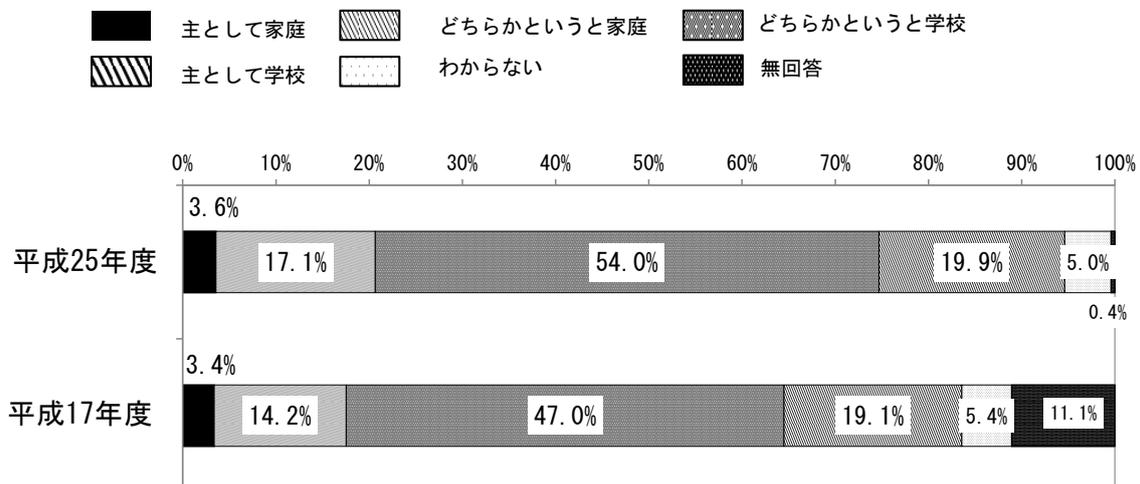


図 III-42 学校の役割・家庭の役割

①基本的な生活習慣(保護者 平成25年度 n=3,632、平成17年度 n=3,876)

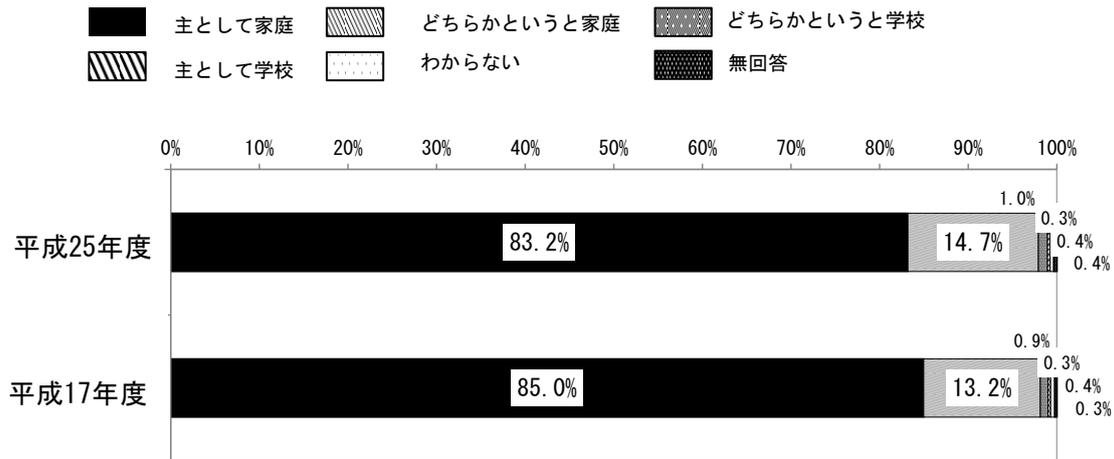


図 III-43 学校の役割・家庭の役割

②社会のルールやマナー(保護者 平成25年度 n=3,632、平成17年度 n=3,876)

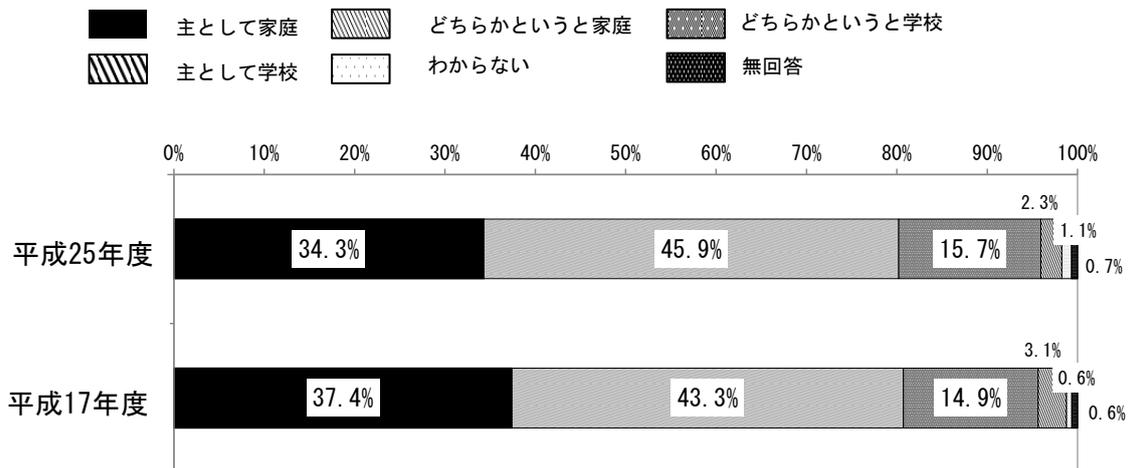


図 III-44 学校の役割・家庭の役割

③人を思いやる心(保護者 平成25年度 n=3,632、平成17年度 n=3,876)

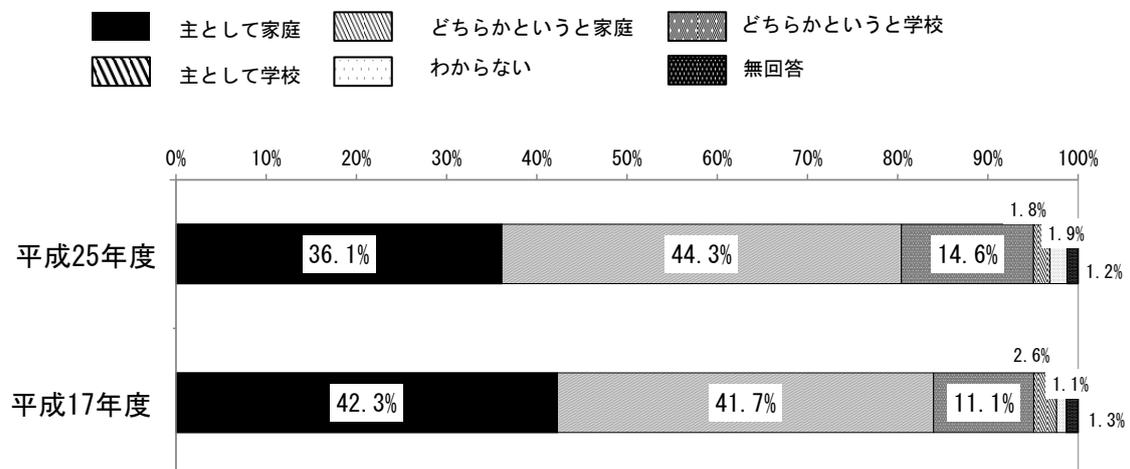


図 III-45 学校の役割・家庭の役割

④学ぶ意欲や学習の習慣(保護者 平成25年度 n=3,632、平成17年度 n=3,876)

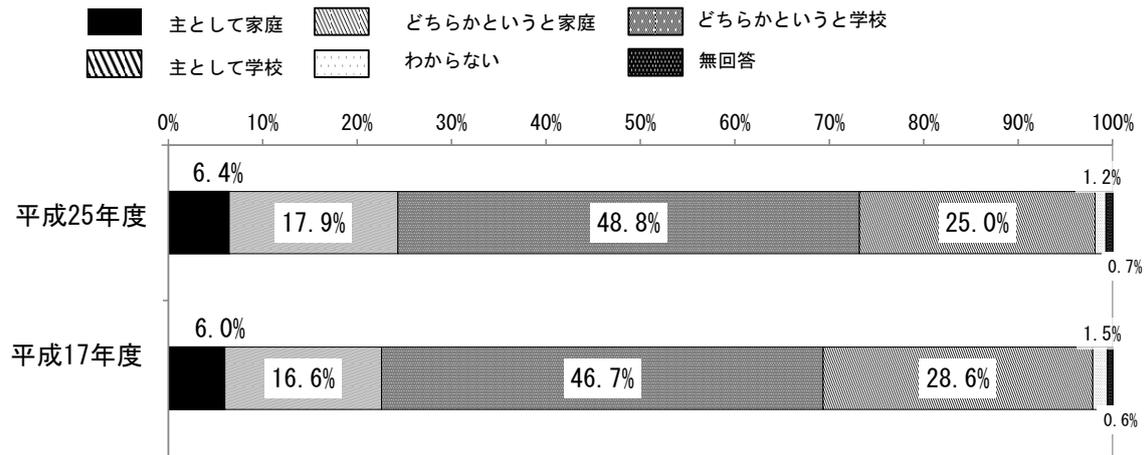


図 III-46 学校の役割・家庭の役割

⑤受験に必要な学力(保護者 平成25年度 n=3,632、平成17年度 n=3,876)

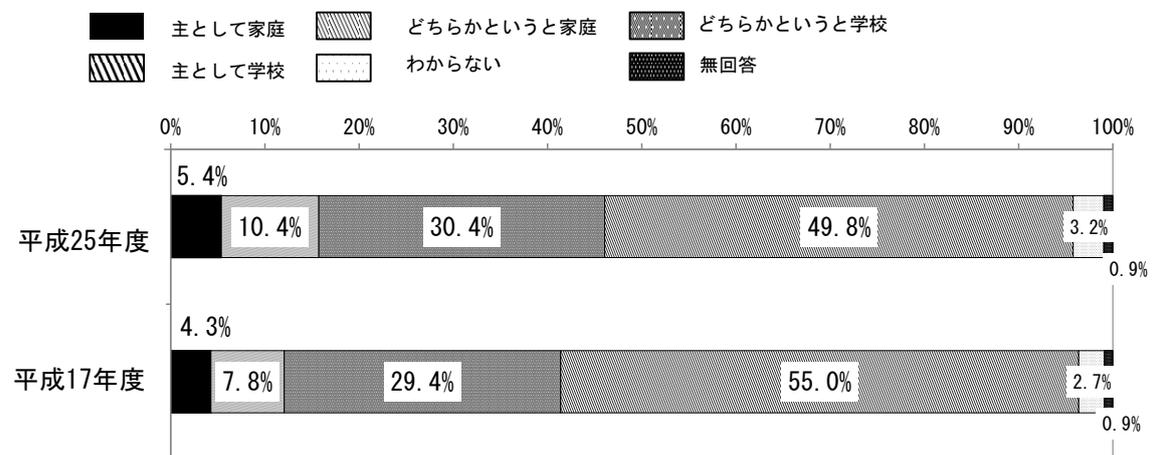


図 III-47 学校の役割・家庭の役割

⑥将来や進路について考える力(保護者 平成25年度 n=3,632、平成17年度 n=3,876)

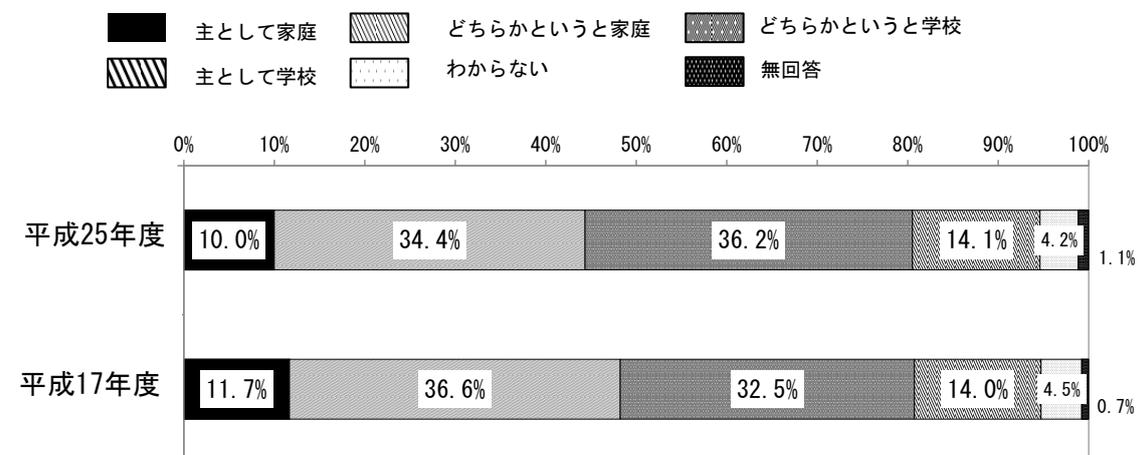


図 III-48 学校の役割・家庭の役割

⑦友だちをつくり、人間関係を築く力(保護者 平成25年度 n=3,632、平成17年度 n=3,876)

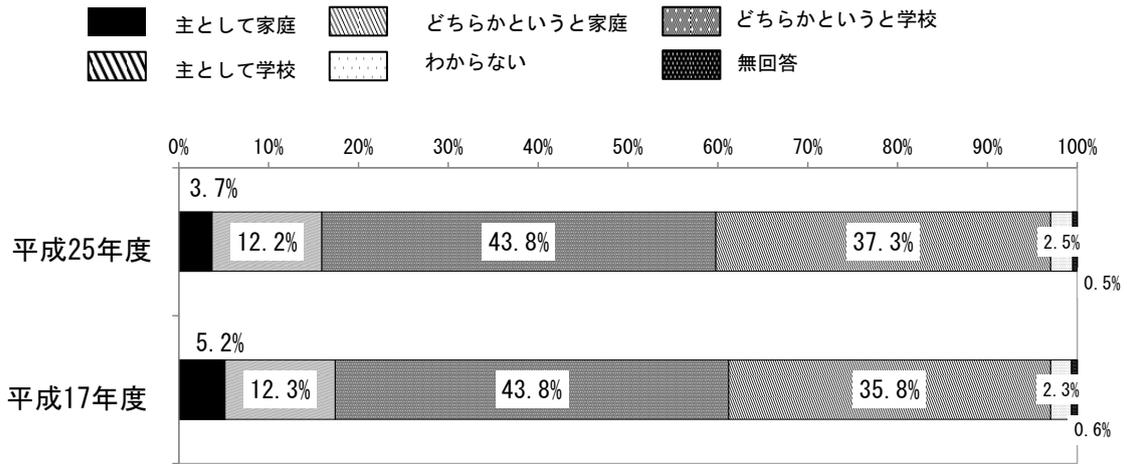


図 III-49 学校の役割・家庭の役割

⑧ものごとをやりとげるねばり強さ(保護者 平成25年度 n=3,632、平成17年度 n=3,876)

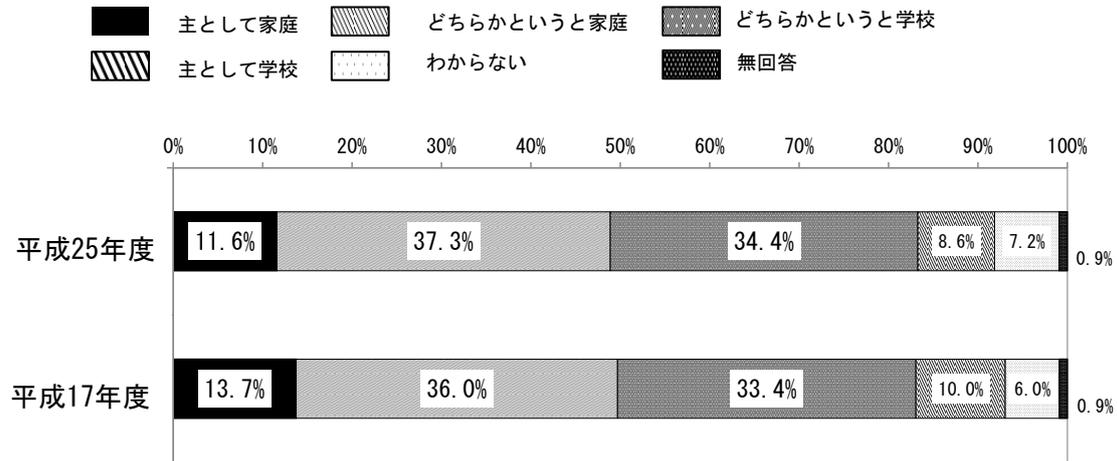


図 III-50 学校の役割・家庭の役割

⑨音楽や美術など芸術的な感性や能力(保護者 平成25年度 n=3,632、平成17年度 n=3,876)

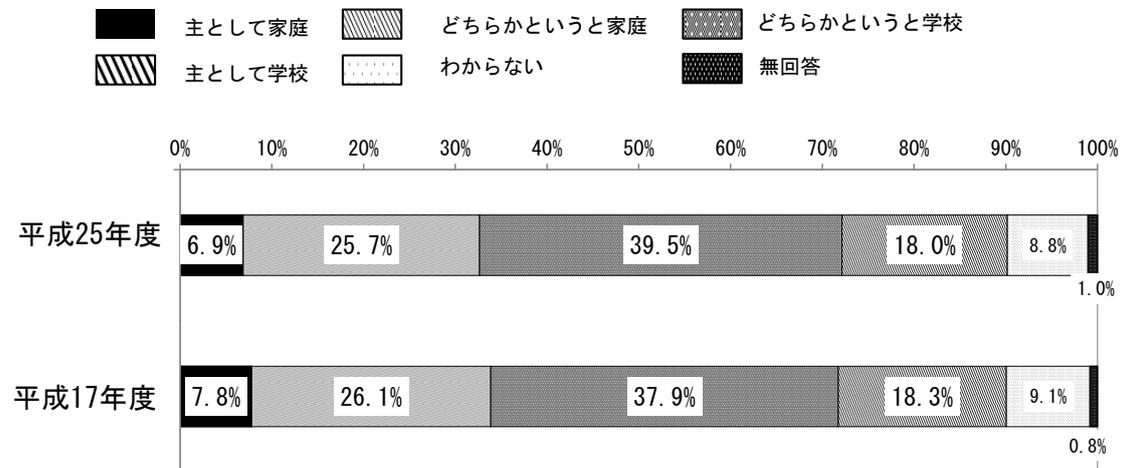


図 III-51 学校の役割・家庭の役割

⑩英会話など実践的な語学力(保護者 平成25年度 n=3,632、平成17年度 n=3,876)

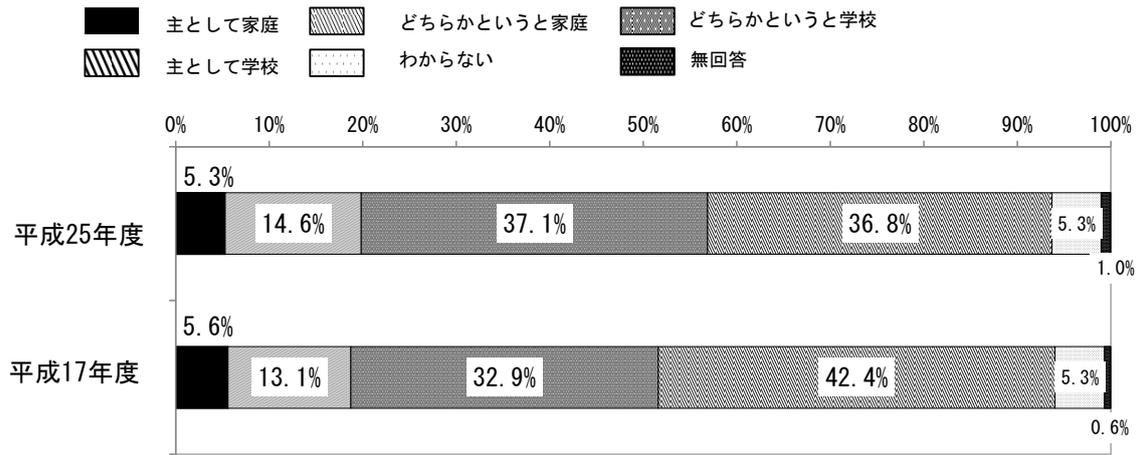


図 III-52 学校の役割・家庭の役割

⑪将来の職業に役立つ知識・技能(保護者 平成25年度 n=3,632、平成17年度 n=3,876)

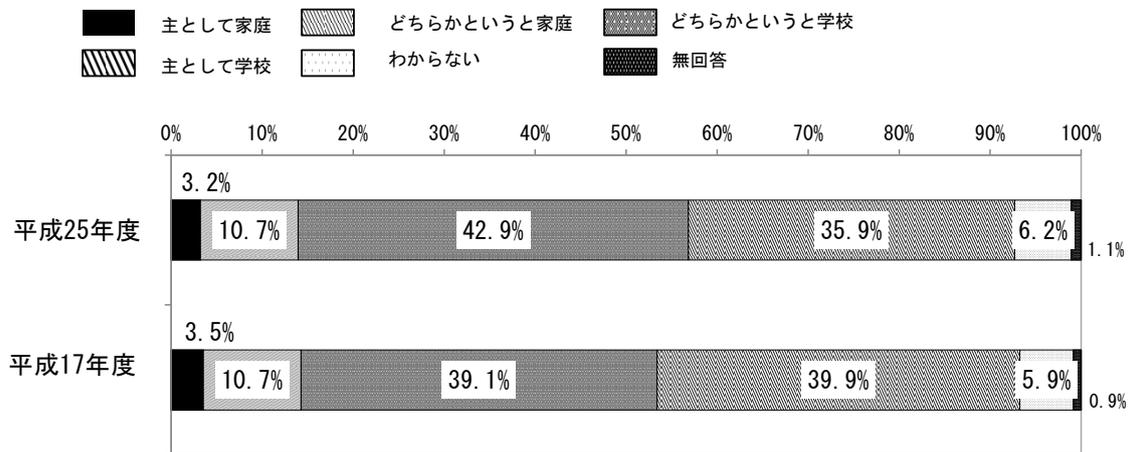


図 III-53 学校の役割・家庭の役割

⑫知識や感性・情操などを育む読書の習慣(保護者 平成25年度 n=3,632、平成17年度 n=3,876)

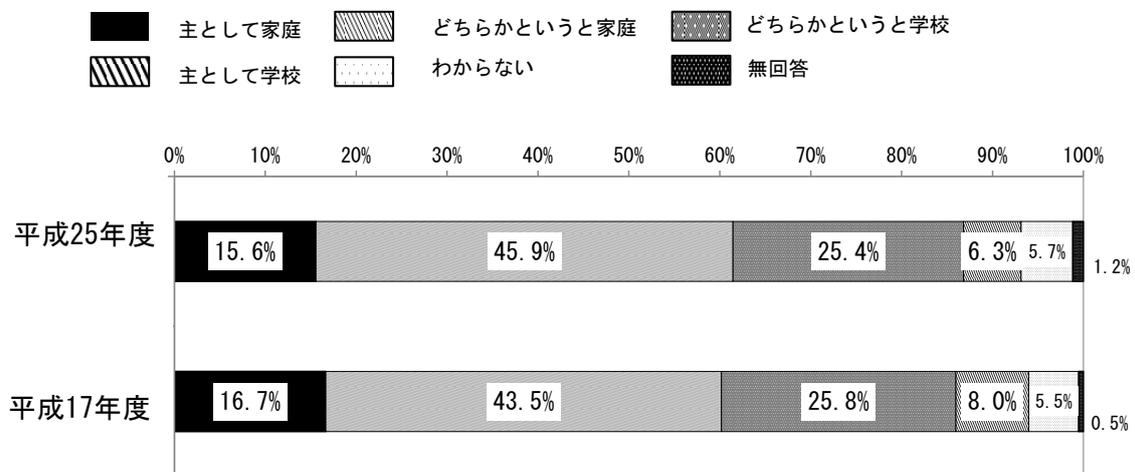


図 III-54 学校の役割・家庭の役割

⑬健康に関する知識や体力・運動能力(保護者 平成25年度 n=3,632、平成17年度 n=3,876)

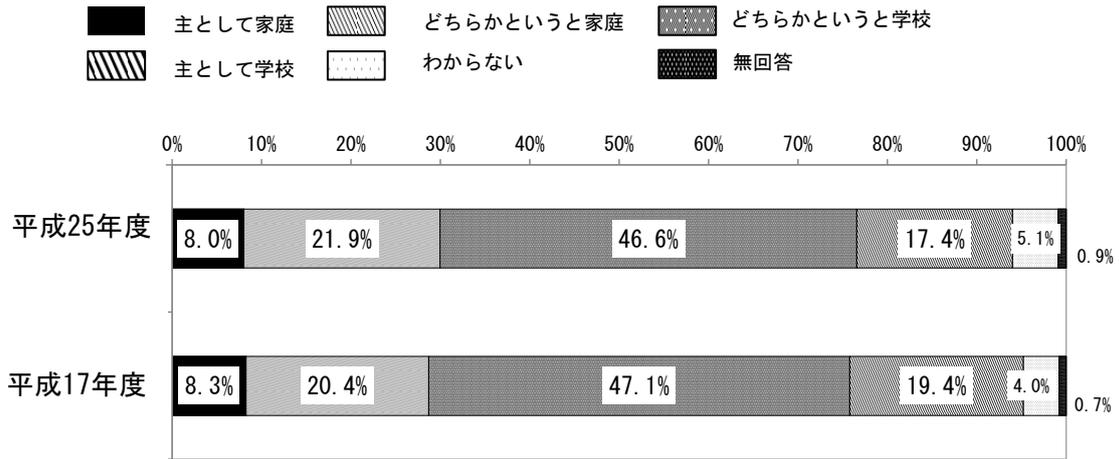


図 III-55 学校の役割・家庭の役割

①基本的な生活習慣(学校評議員 平成25年度 n=534、平成17年度 n=515)

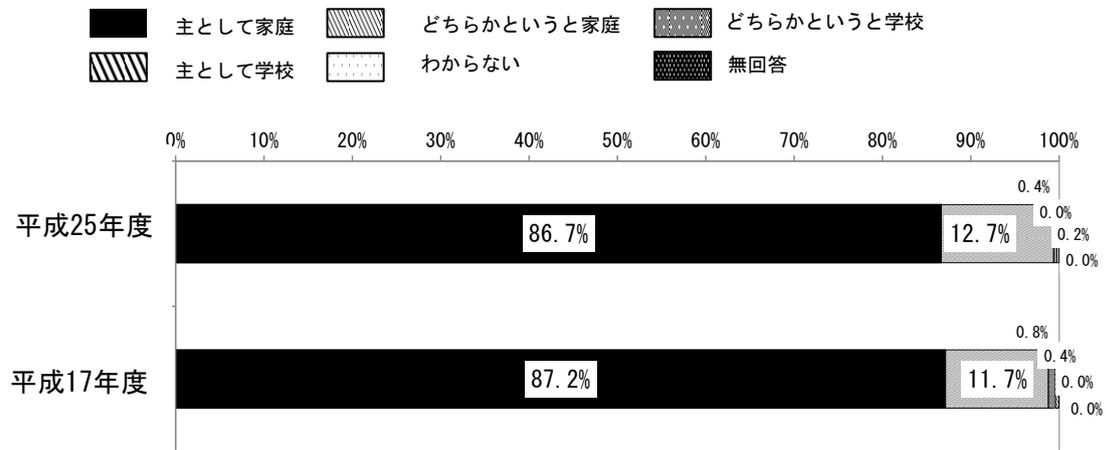


図 III-56 学校の役割・家庭の役割

②社会のルールやマナー(学校評議員 平成25年度 n=534、平成17年度 n=515)

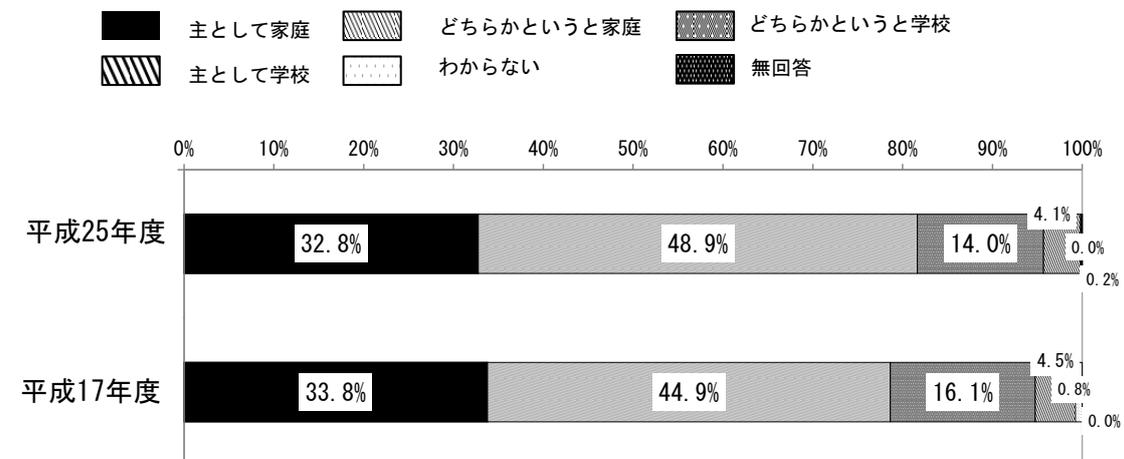


図 III-57 学校の役割・家庭の役割

③人を思いやる心(学校評議員 平成25年度 n=534、平成17年度 n=515)

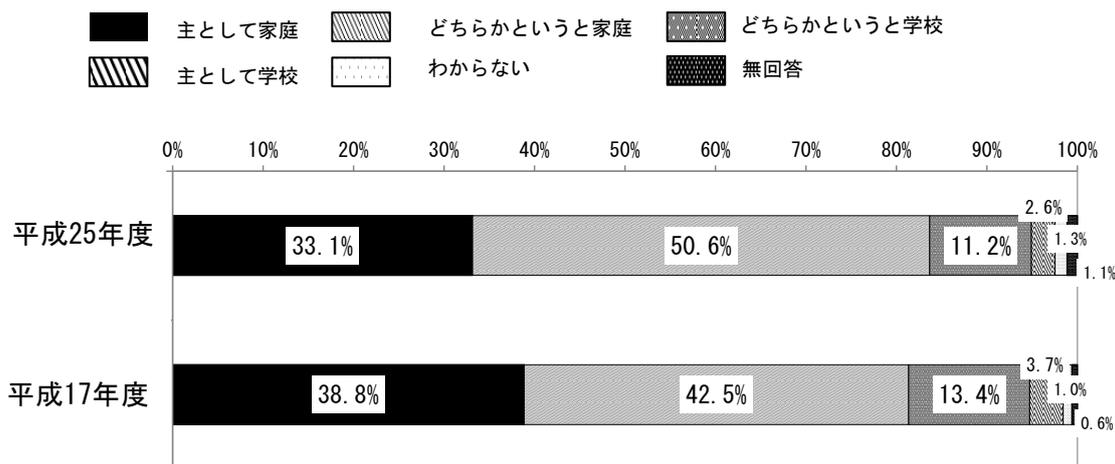


図 III-58 学校の役割・家庭の役割

④学ぶ意欲や学習の習慣(学校評議員 平成25年度 n=534、平成17年度 n=515)

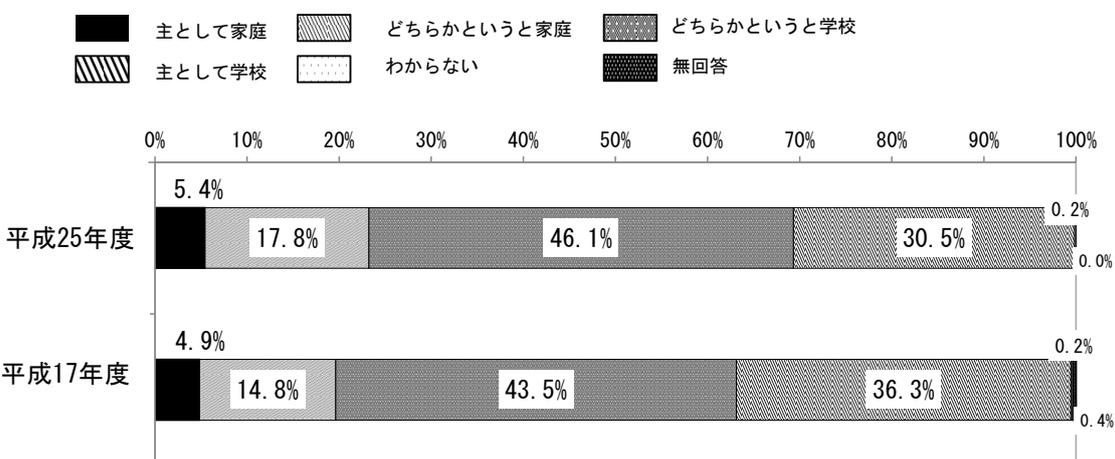


図 III-59 学校の役割・家庭の役割

⑤受験に必要な学力(学校評議員 平成25年度 n=534、平成17年度 n=515)

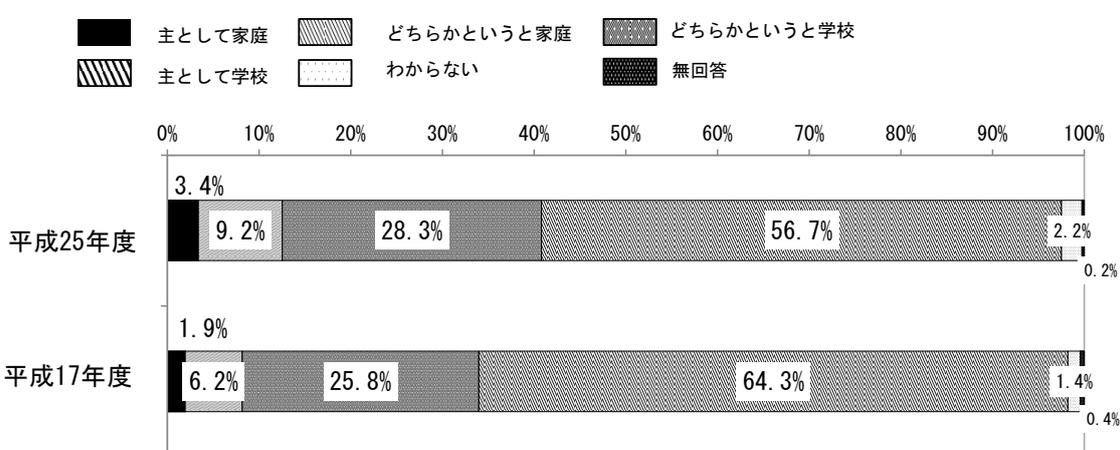


図 III-60 学校の役割・家庭の役割

⑥将来や進路について考える力(学校評議員 平成25年度 n=534、平成17年度 n=515)

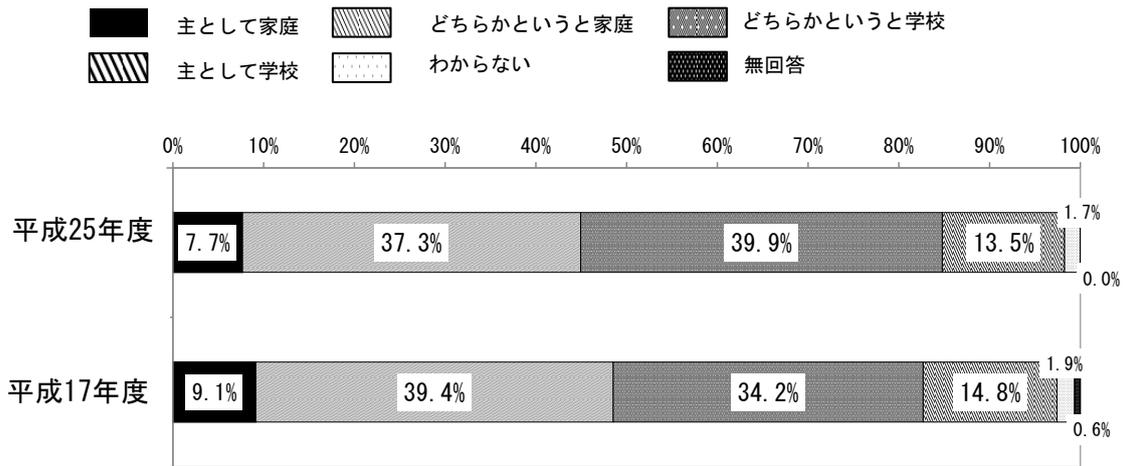


図 III-61 学校の役割・家庭の役割

⑦友達をつくり、人間関係を築く力(学校評議員 平成25年度 n=534、平成17年度 n=515)

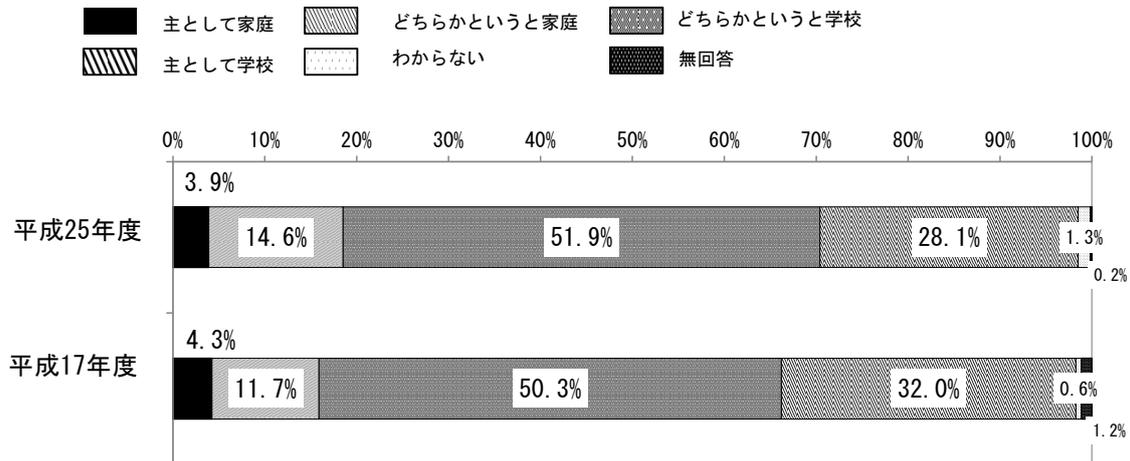


図 III-62 学校の役割・家庭の役割

⑧ものごとをやりとげるねばり強さ(学校評議員 平成25年度 n=534、平成17年度 n=515)

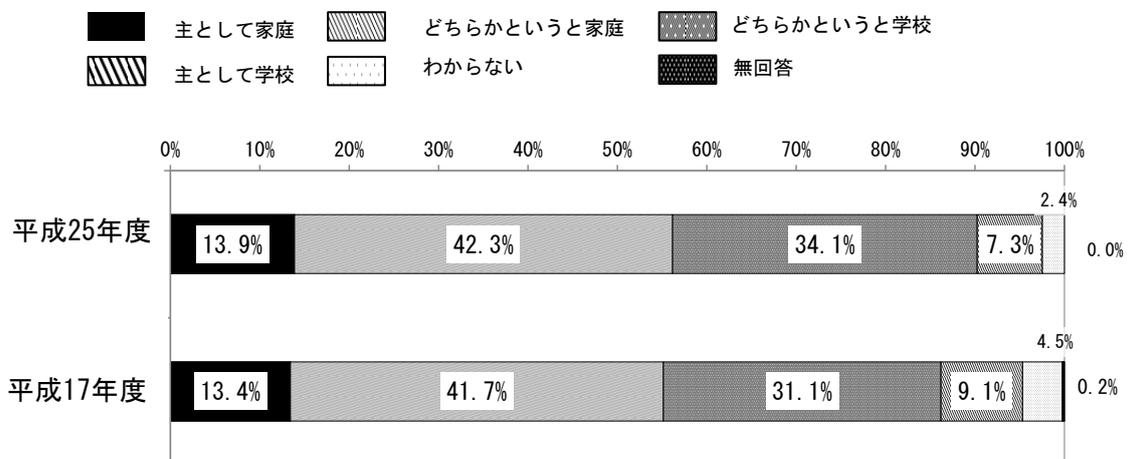


図 III-63 学校の役割・家庭の役割

⑨音楽や美術など芸術的な感性や能力(学校評議員 平成25年度n=534、平成17年度n=515)

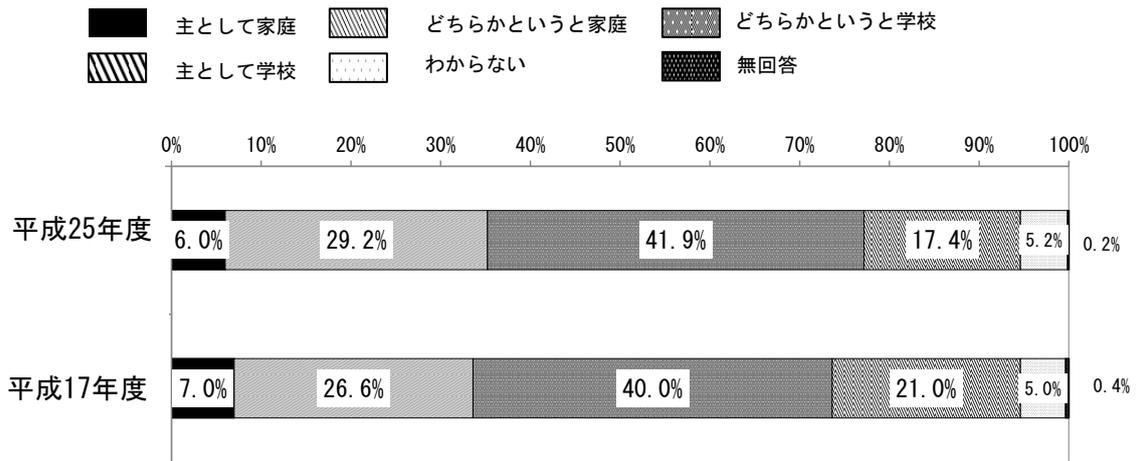


図 III-64 学校の役割・家庭の役割

⑩英会話など実践的な語学力(学校評議員 平成25年度n=534、平成17年度n=515)

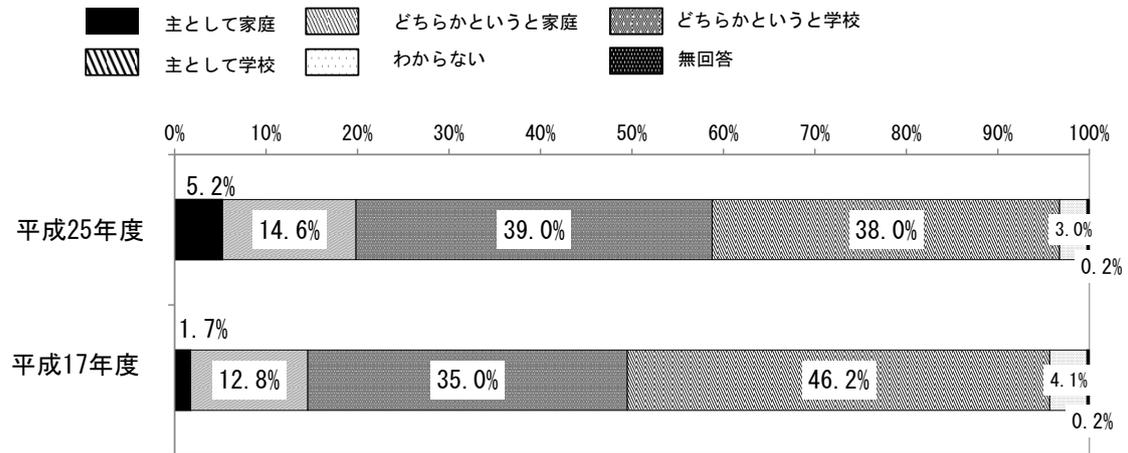


図 III-65 学校の役割・家庭の役割

⑪将来の職業に役立つ知識・技能(学校評議員 平成25年度n=534、平成17年度n=515)

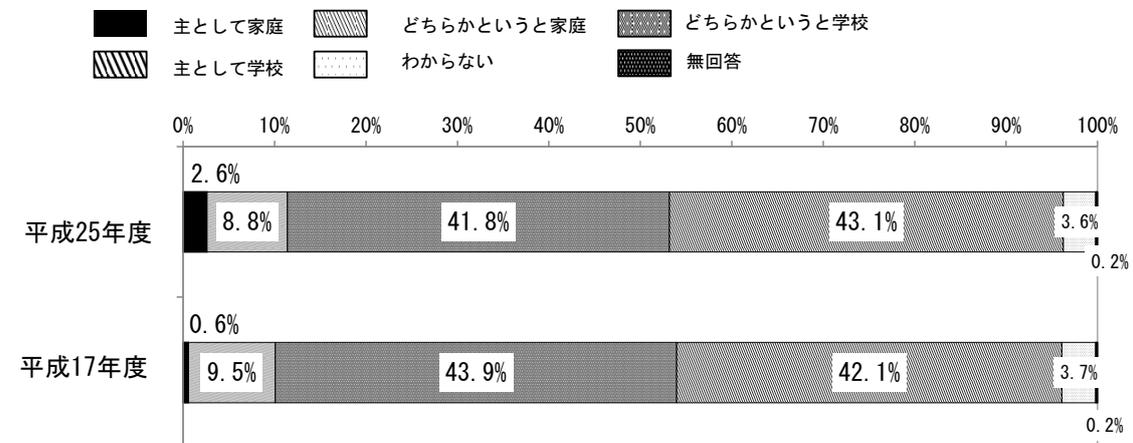


図 III-66 学校の役割・家庭の役割

⑫知識や感性・情操などを育む読書の習慣

(学校評議員 平成25年度 n=534、平成17年度 n=515)

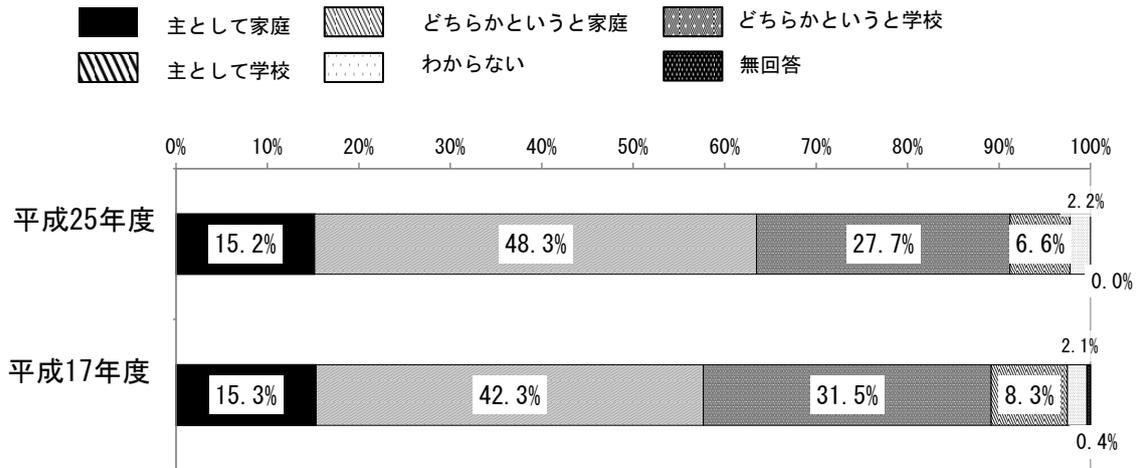


図 III-67 学校の役割・家庭の役割

⑬健康に関する知識や体力・運動能力(学校評議員 平成25年度 n=534、平成17年度 n=515)

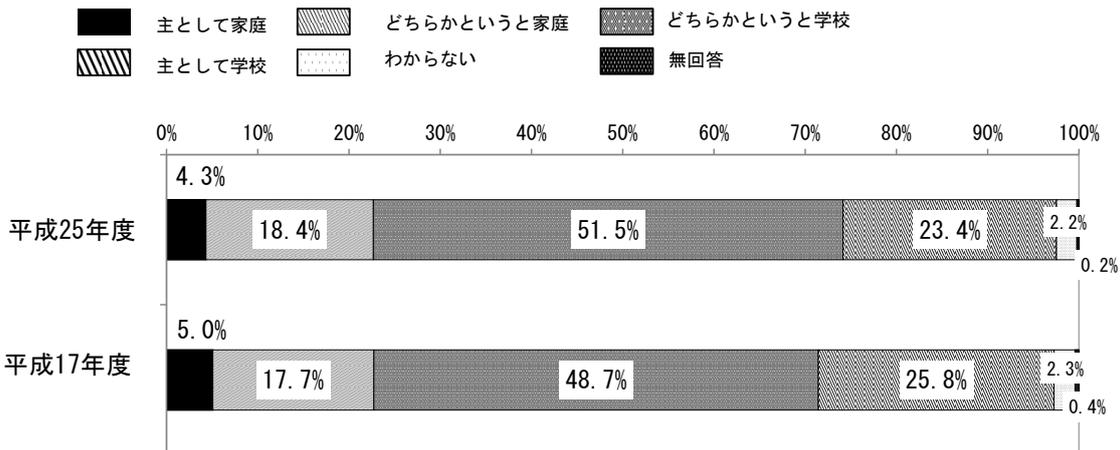


図 III-68 学校の役割・家庭の役割

①基本的な生活習慣(一般県民 平成25年度 n=1,233、平成17年度 n=1,530)

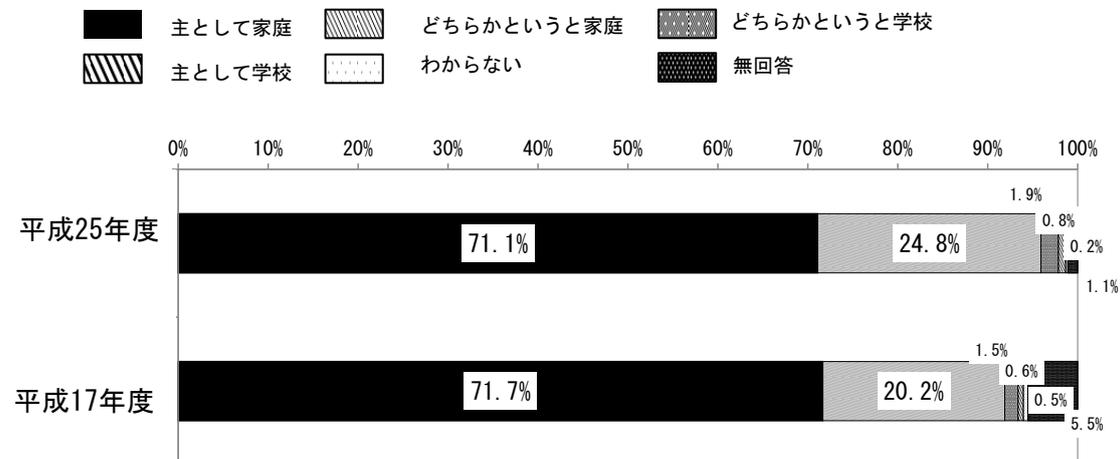


図 III-69 学校の役割・家庭の役割

②社会のルールやマナー(一般県民 平成25年度 n=1,233、平成17年度 n=1,530)

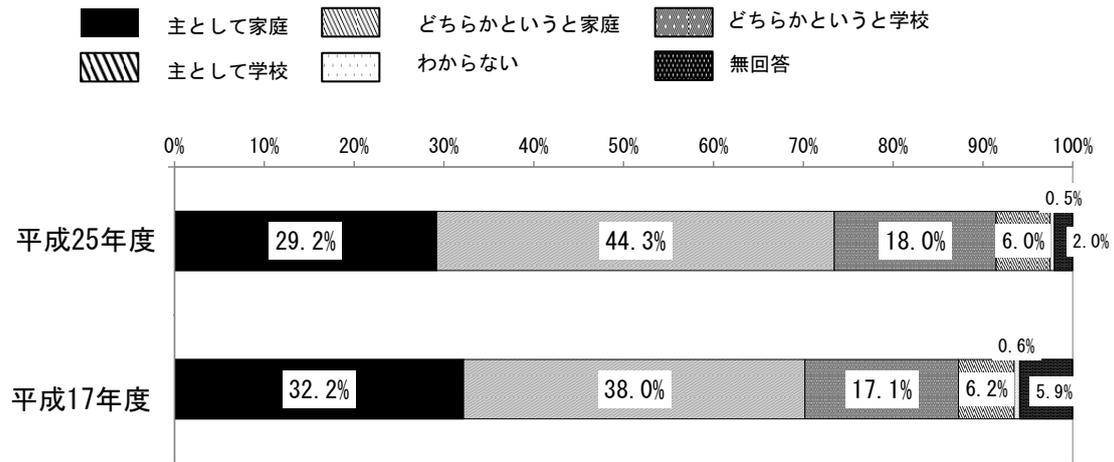


図 III-70 学校の役割・家庭の役割

③人を思いやる心(一般県民 平成25年度 n=1,233、平成17年度 n=1,530)

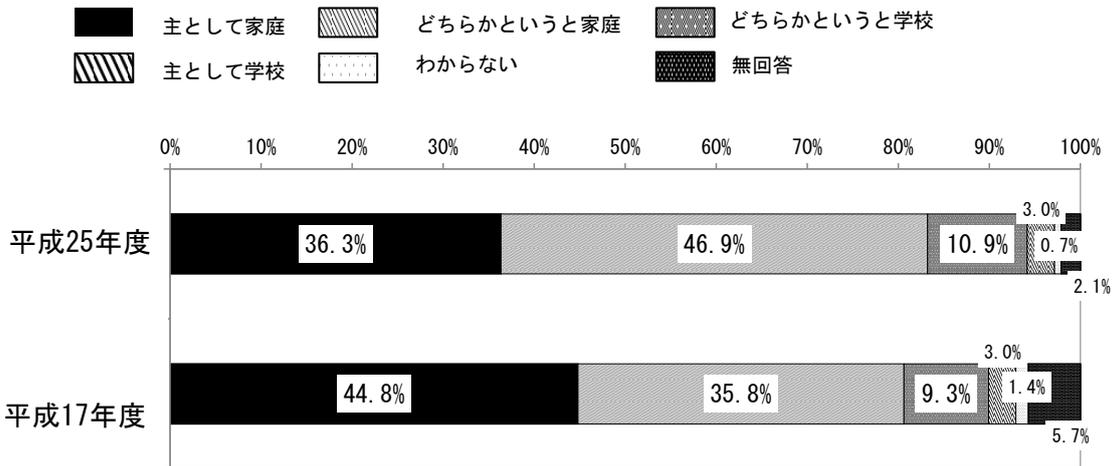


図 III-71 学校の役割・家庭の役割

④学ぶ意欲や学習の習慣(一般県民 平成25年度 n=1,233、平成17年度 n=1,530)

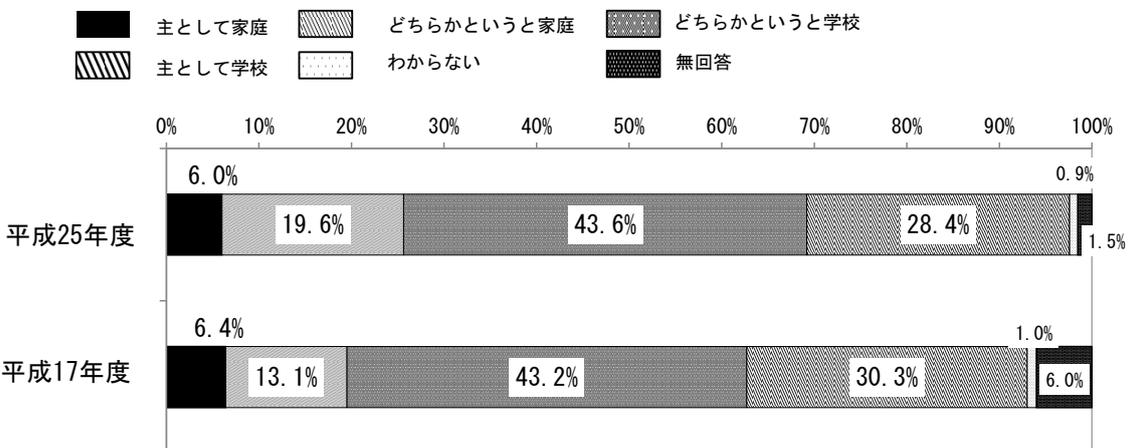


図 III-72 学校の役割・家庭の役割

⑤受験に必要な学力(一般県民 平成25年度 n=1,233、平成17年度 n=1,530)

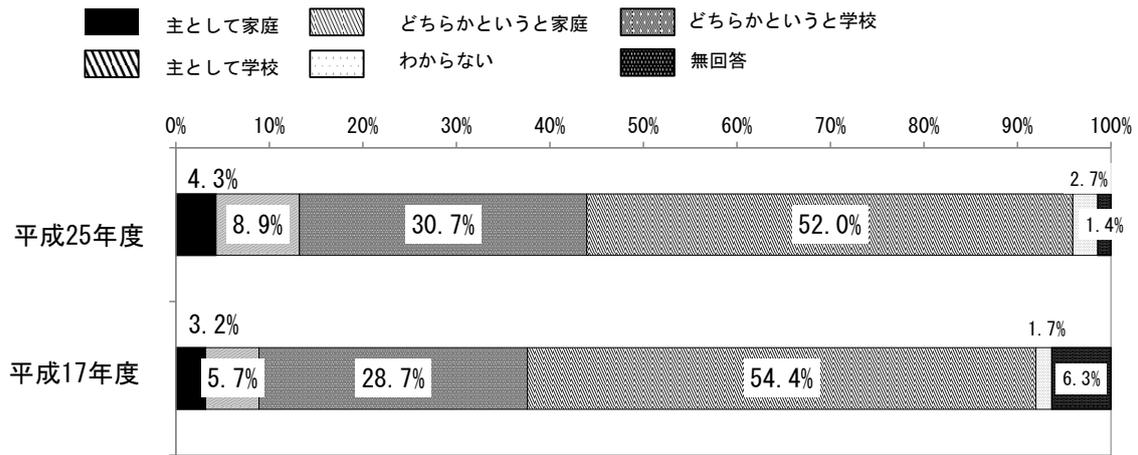


図 III-73 学校の役割・家庭の役割

⑥将来や進路について考える力(一般県民 平成25年度 n=1,233、平成17年度 n=1,530)

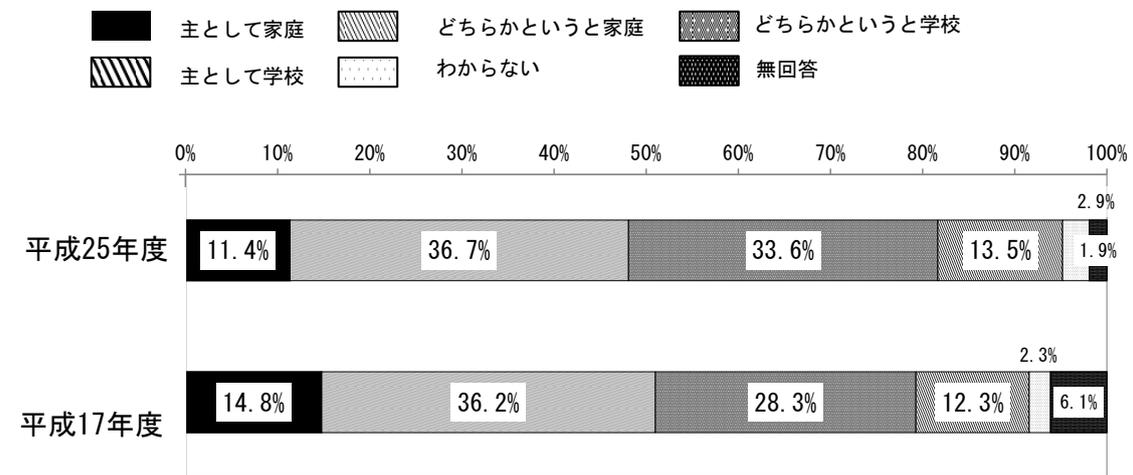


図 III-74 学校の役割・家庭の役割

⑦友だちをつくり、人間関係を築く力(一般県民 平成25年度 n=1,233、平成17年度 n=1,530)

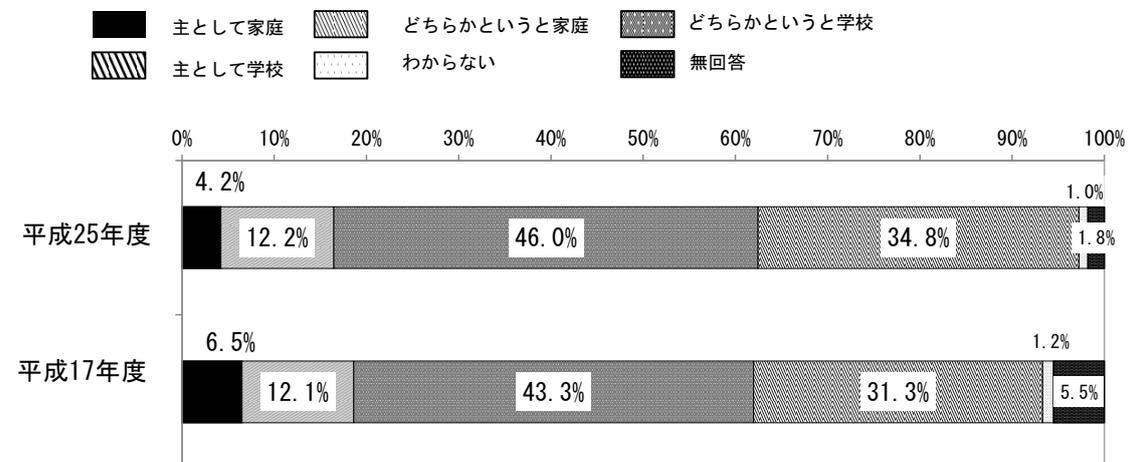


図 III-75 学校の役割・家庭の役割

⑧ものごとをやりとげるねばり強さ(一般県民 平成25年度n=1,233、平成17年度n=1,530)

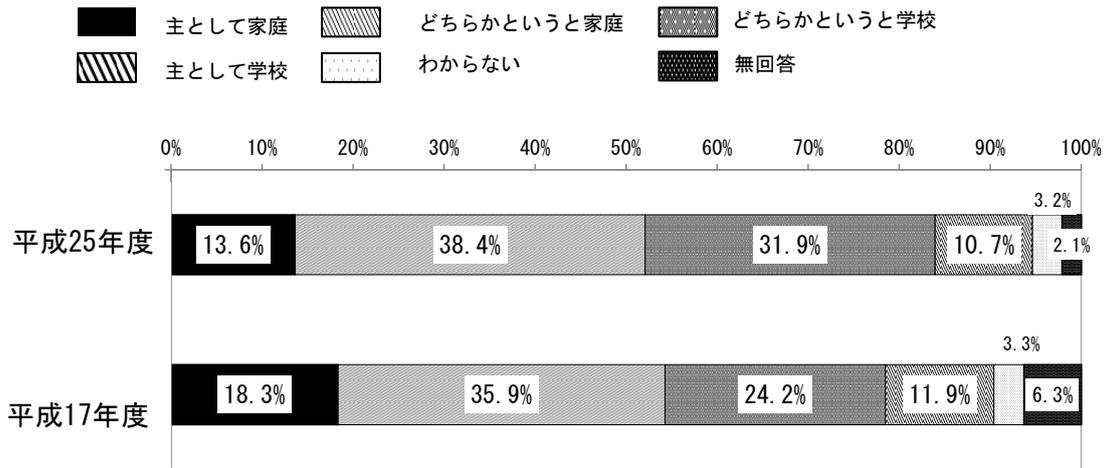


図 III-76 学校の役割・家庭の役割

⑨音楽や美術など芸術的な感性や能力

(一般県民 平成25年度n=1,233、平成17年度n=1,530)

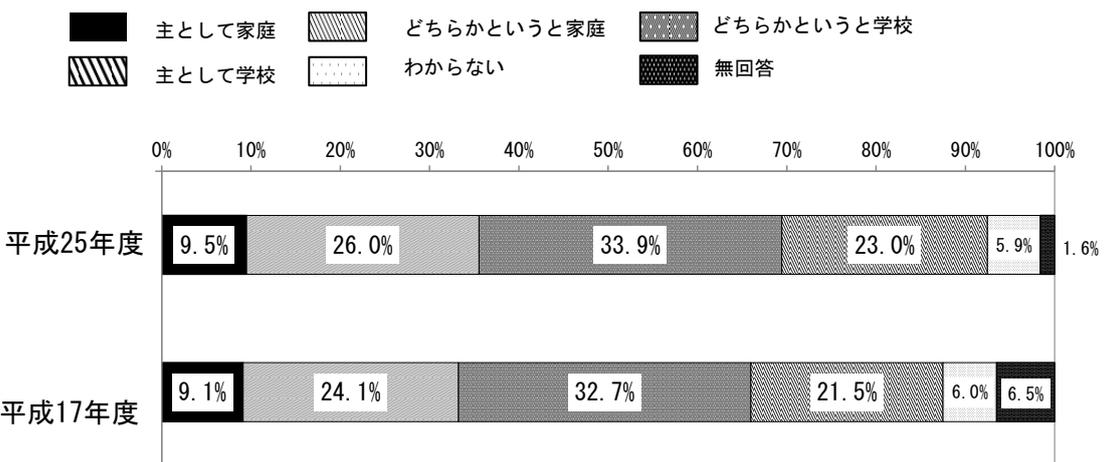


図 III-77 学校の役割・家庭の役割

⑩英会話など実践的な語学力(一般県民 平成25年度n=1,233、平成17年度n=1,530)

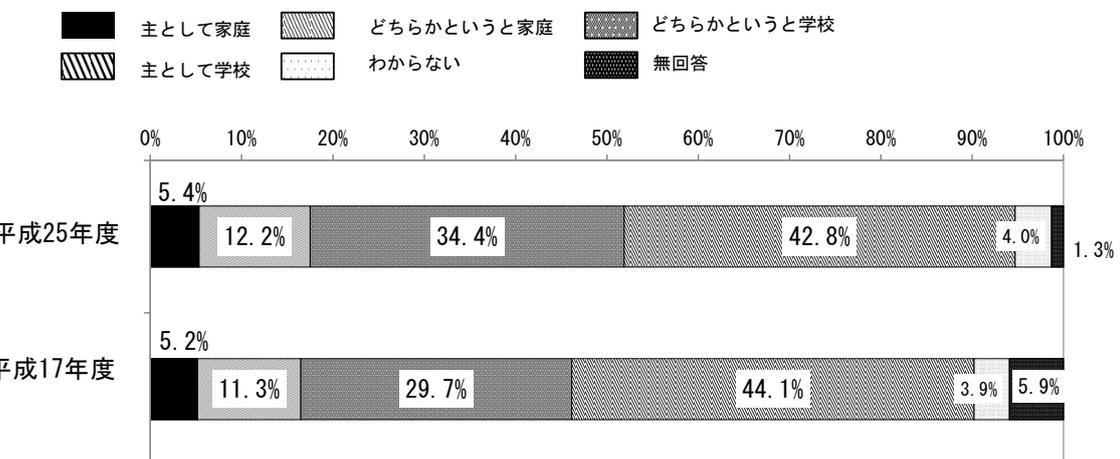
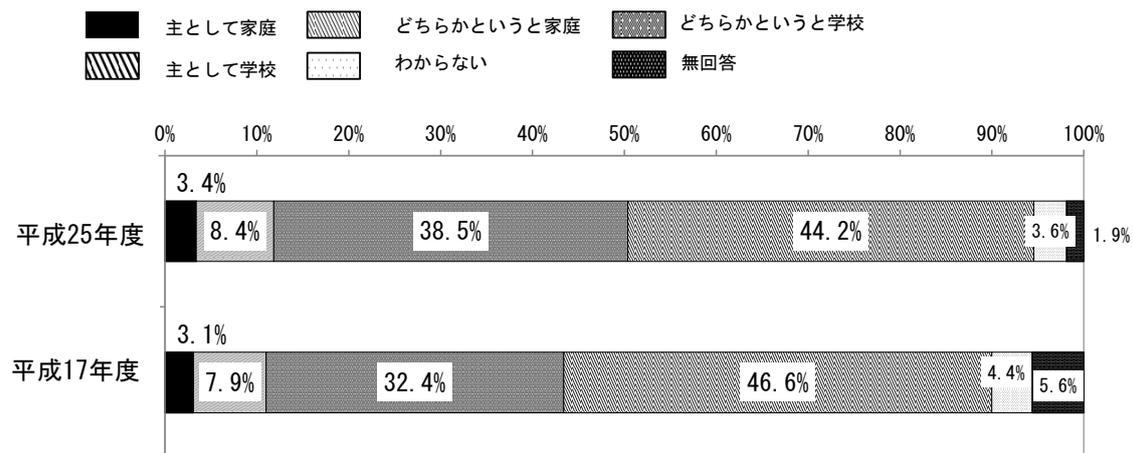


図 III-78 学校の役割・家庭の役割

⑪将来の職業に役立つ知識・技能(一般県民 平成25年度 n=1,233、平成17年度 n=1,530)



III-3 子どもとのコミュニケーション

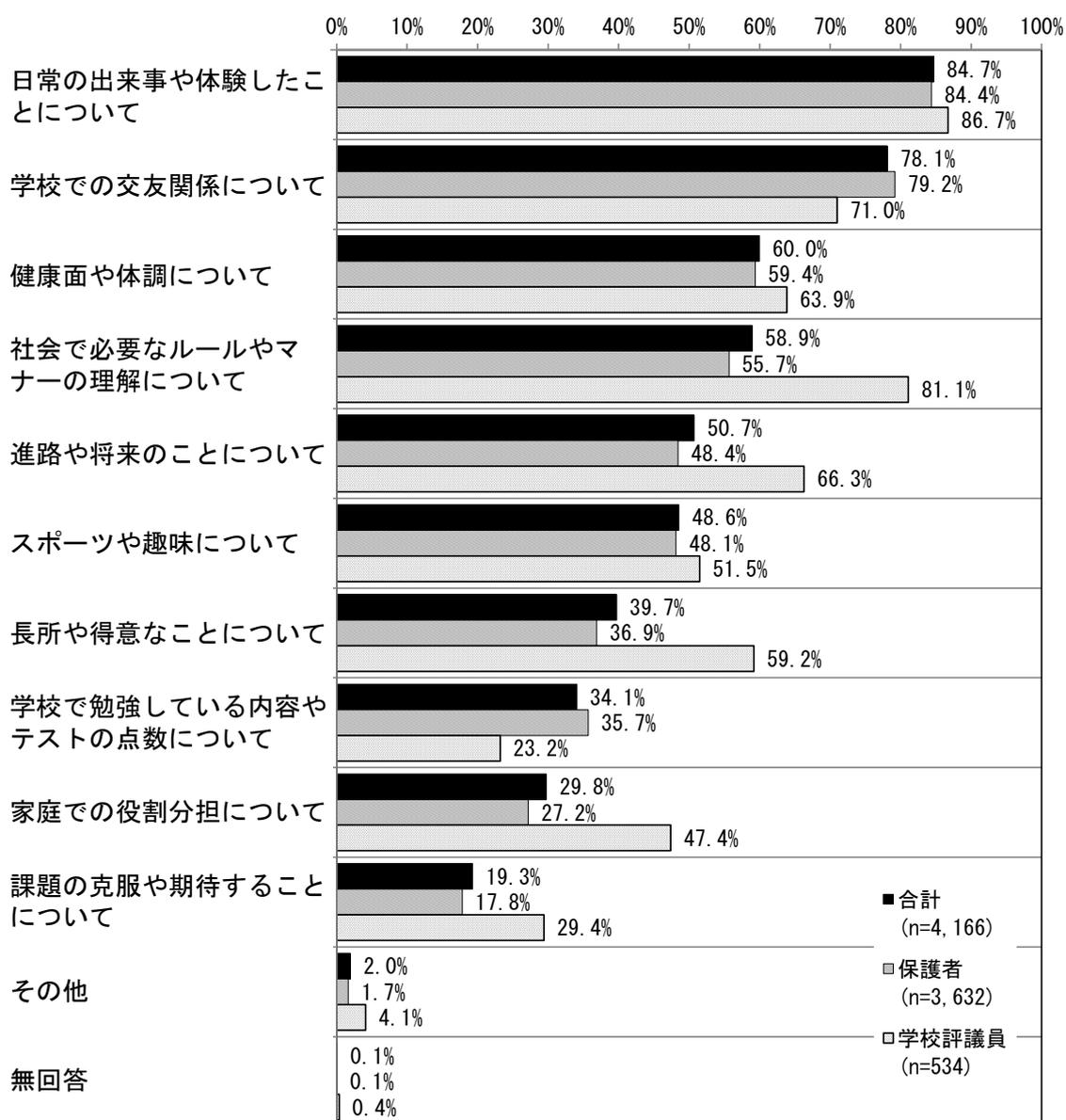
保護者、学校評議員に対して、「子どもとのコミュニケーションで大切な話題は何か」を聞いたところ、保護者では「日常の出来事や体験したことについて」、「学校での交友関係について」、「健康面や体調について」、学校評議員では「日常の出来事や体験したことについて」、「社会で必要なルールやマナーの理解について」、「学校での交友関係について」との回答の割合が高かった。

『子どもとのコミュニケーション』について保護者と学校評議員に聞いたところ、保護者では、「日常の出来事や体験したことについて」(84.4%)、「学校での交友関係について」(79.2%)、「健康面や体調について」(59.4%)、学校評議員では、「日常の出来事や体験したことについて」(86.7%)、「社会で必要なルールやマナーの理解について」(81.1%)、「学校での交友関係について」(71.0%)との回答の割合が高かった。(表III-3、図III-79 参照)

表 III-3 子どもとのコミュニケーション(上位5項目)

	保護者	学校評議員
1位	日常の出来事や体験したことについて 84.4%	日常の出来事や体験したことについて 86.7%
2位	学校での交友関係について 79.2%	社会で必要なルールやマナーの理解について 81.1%
3位	健康面や体調について 59.4%	学校での交友関係について 71.0%
4位	社会で必要なルールやマナーの理解について 55.7%	進路や将来のことについて 66.3%
5位	進路や将来のことについて 48.4%	健康面や体調について 63.9%

図 III-79 子どもとのコミュニケーション(保護者、学校評議員)



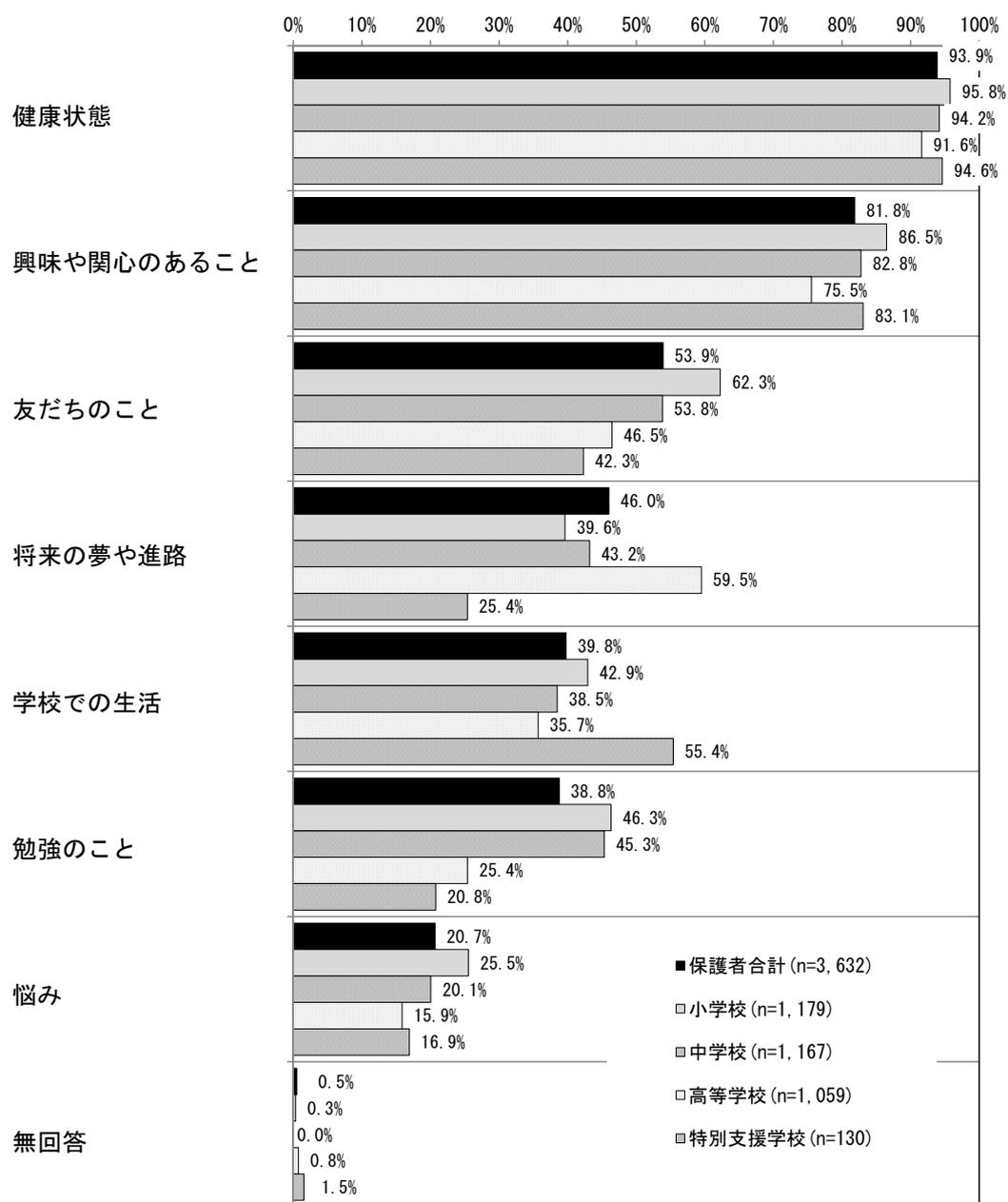
III - 4 自分の子をどのくらい把握しているか

保護者に「自分の子をどのくらい把握しているか」を聞いたところ、子どもの校種にかかわらず「健康状態」、次いで「興味や関心のあること」との回答の割合が高かった。さらに、小中学校の保護者では「友だちのこと」、高等学校の保護者では「将来の夢や進路」、特別支援学校の保護者では「学校での生活」の割合が高かった。

平成 17 年度調査結果と比較すると、いずれの調査においても、またどの校種の保護者においても、割合が最も高かった回答は「健康状態」であり、その割合は小学校保護者の回答は平成 25 年度調査では 95.8%、平成 17 年度調査では 97.2%である。中学校保護者の回答は平成 25 年度調査では 94.2%、平成 17 年度調査では 95.5%、高等学校保護者の回答は平成 25 年度調査では 91.6%、平成 17 年度調査では 95.5%であり、特別支援学校保護者の回答は平成 25 年度調査では 94.6%、平成 17 年度調査では 94.3%であった。

『自分の子をどのくらい把握しているか』を保護者に聞いたところ、「健康状態」（小学校：95.8%、中学校：94.2%、高等学校：91.6%、特別支援学校：94.6%）との回答が最も高い割合となっており、次に回答の割合が高いのは「興味や関心のあること」（小学校：86.5%、中学校：82.8%、高等学校：75.5%、特別支援学校：83.1%）となっている。さらに、小中学校の保護者では「友だちのこと」（小学校：62.3%、中学校：53.8%）、高等学校の保護者では「将来の夢や進路」（59.5%）、特別支援学校の保護者では「学校での生活」（55.4%）が続いている。（図Ⅲ-80 参照）

図 III-80 自分の子をどのくらい把握しているか(保護者)



『自分の子をどのくらい把握しているか』について、回答の割合が高かった項目を平成 17 年度調査結果と比較すると、小学校保護者の回答は平成 25 年度調査では「健康状態」(95.8%)、「興味や関心のあること」(86.5%)、「友だちのこと」(62.3%)であり、平成 17 年度調査では「健康状態」(97.2%)、「興味や関心のあること」(88.2%)、「友だちのこと」(62.7%)であった。中学校保護者の回答は平成 25 年度調査では「健康状態」(94.2%)、「興味や関心のあること」(82.8%)、「友だちのこと」(53.8%)であり、平成 17 年度調査では「健康状態」(95.5%)、「興味や関心のあること」(81.1%)、「友だちのこと」(50.9%)であった。高等学校保護者の回答は平成 25 年度調査では「健康状態」(91.6%)、「興味や関心のあること」(75.5%)、「将来の夢や進路」(59.5%)であり、平成 17 年度調査では「健康状態」(95.5%)、「興味や関心のあること」(77.1%)、「将来の夢や進路」(57.7%)であった。特別支援学校保護者の回答は平成 25 年度調査では「健康状態」(94.6%)、「興味や関心のあること」(83.1%)、「学校での生活」(55.4%)であり、平成 17 年度調査では「健康状態」(94.3%)、「興味や関心のあること」(77.4%)、「学校での生活」(47.2%)であった。(図Ⅲ-81～85 参照)

図 III-81 自分の子をどのくらい把握しているか(保護者合計)

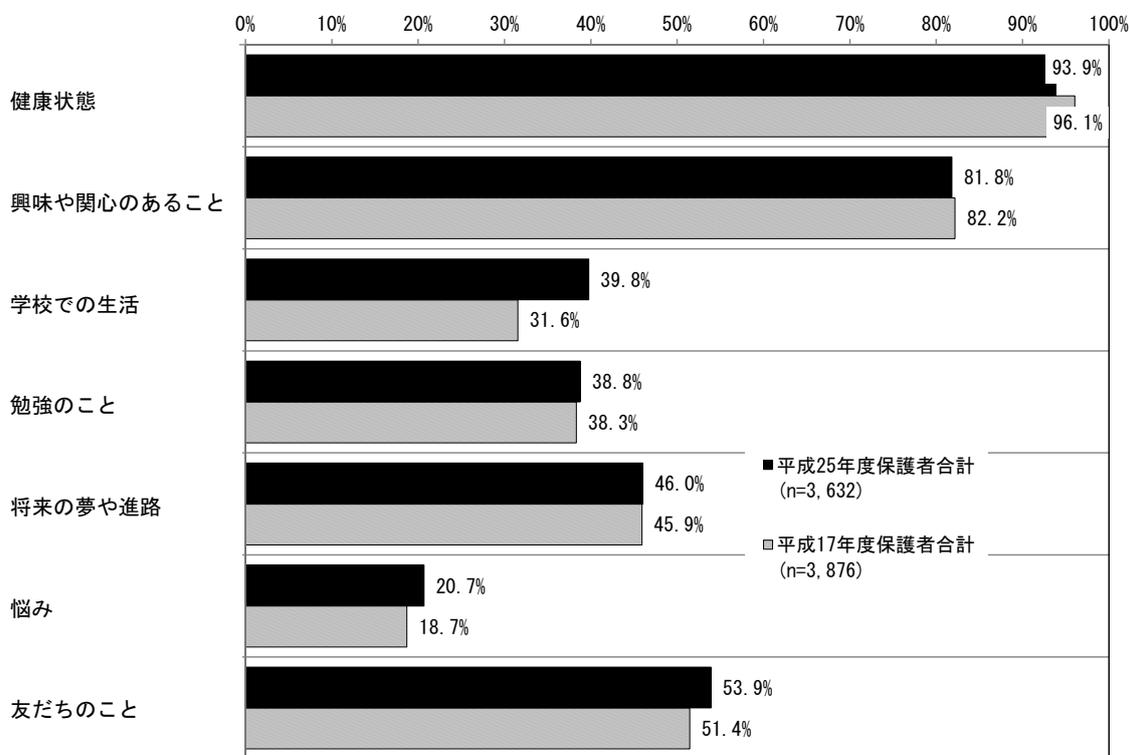


図 III-82 自分の子をどのくらい把握しているか(保護者：小学校)

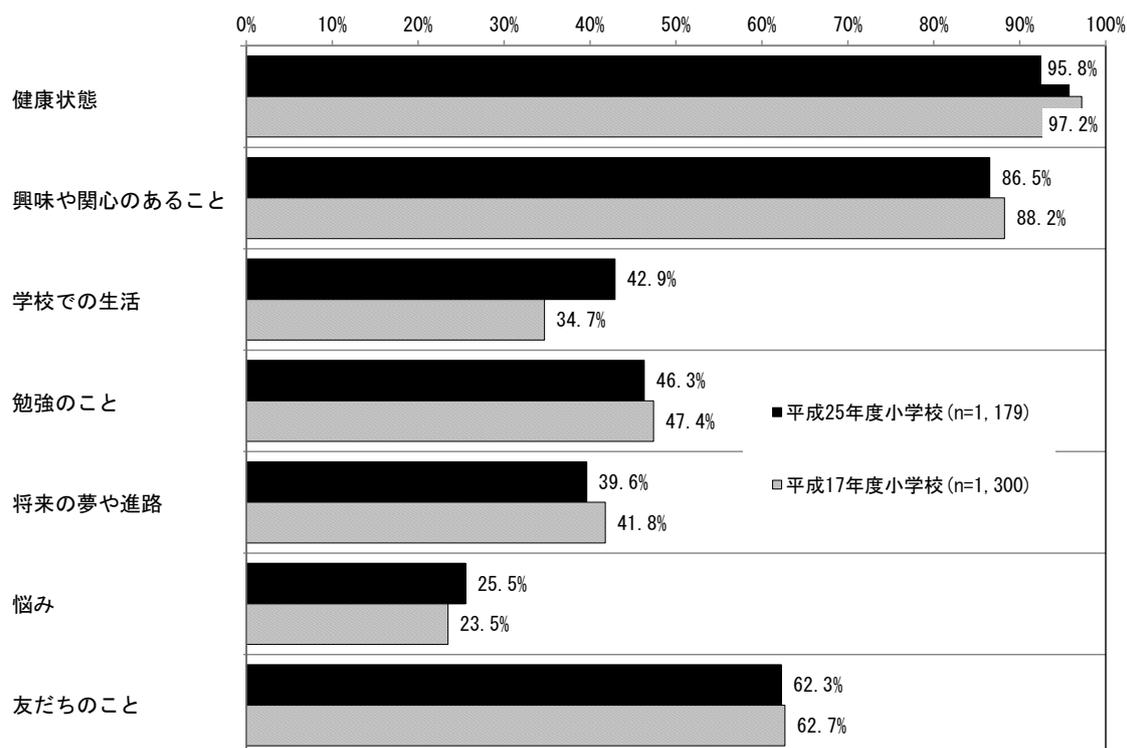


図 III-83 自分の子をどのくらい把握しているか(保護者：中学校)

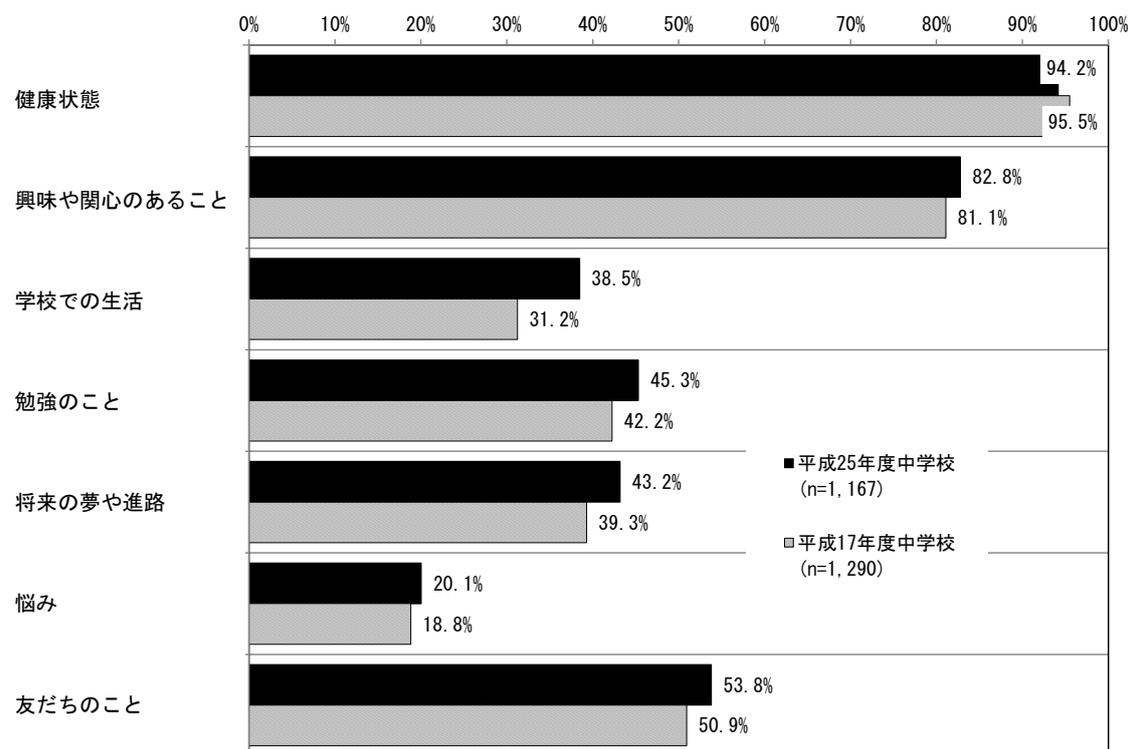


図 III-84 自分の子をどのくらい把握しているか(保護者：高等学校)

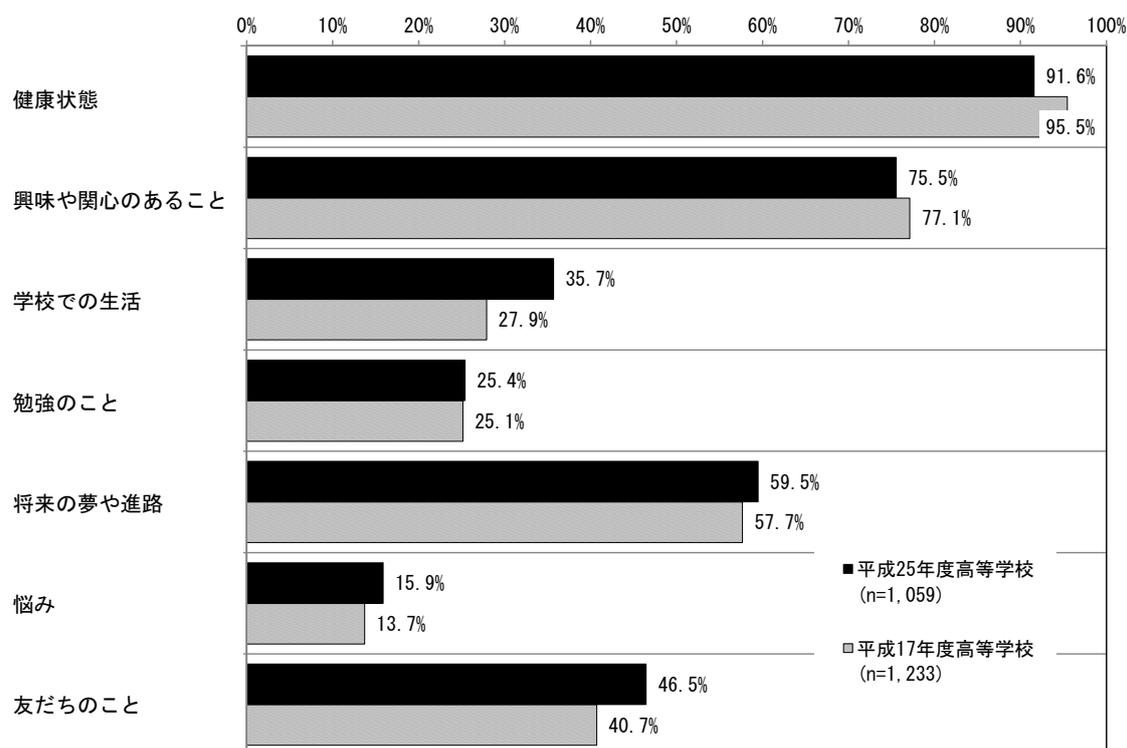
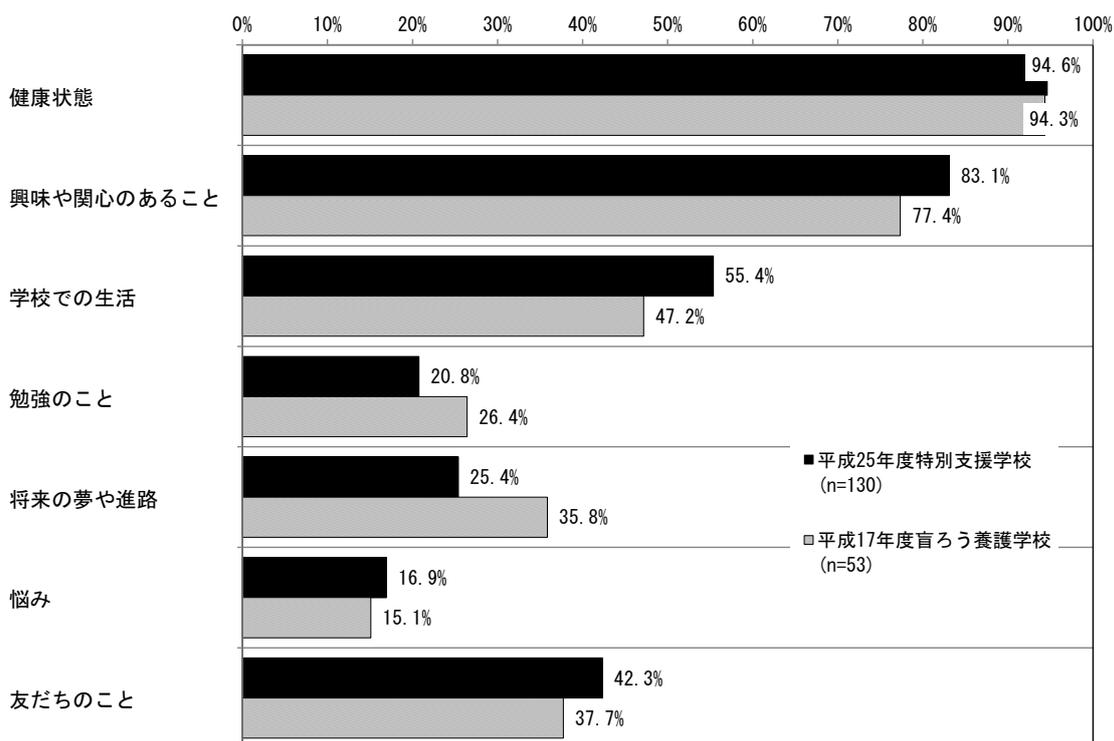


図 III-85 自分の子をどのくらい把握しているか(保護者：特別支援学校)



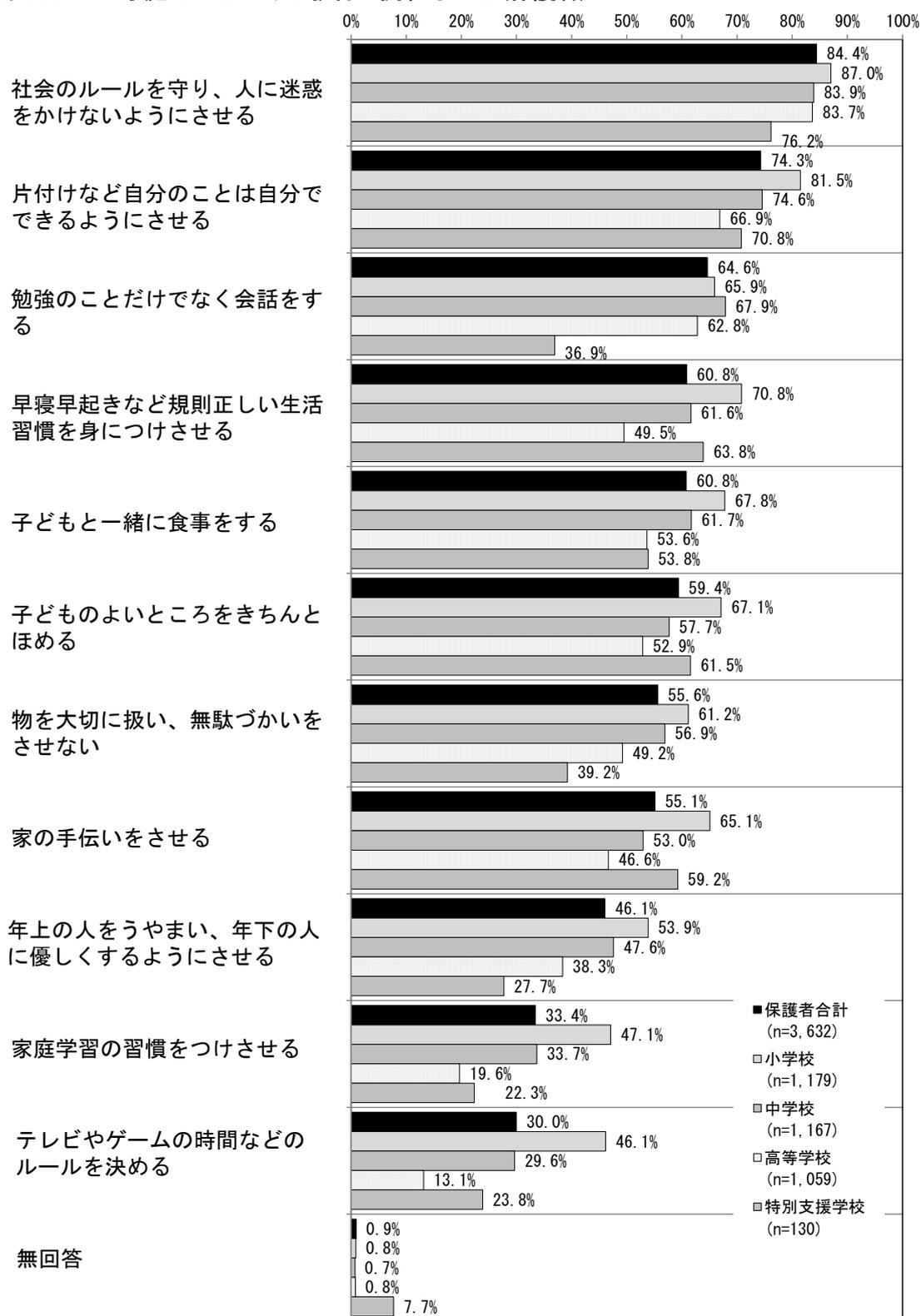
III - 5 家庭でのしつけや教育に関わること

家庭でのしつけや教育内容について保護者に聞いたところ、「社会のルールを守り、人に迷惑をかけないようにさせる」、「片付けなど自分のことは自分でできるようにさせる」が高い割合であった。さらに、小学校と特別支援学校の保護者では「早寝早起きなど規則正しい生活習慣を身につけさせる」、中学校と高等学校の保護者では「勉強のことだけでなく会話をする」が続いている。

また、回答の割合の最も高かった項目を平成 17 年度調査結果と比較すると、小中高等学校の保護者の回答はいずれの調査においても、「社会のルールを守り、人に迷惑をかけないようにさせる」との回答の割合が最も高く、小学校保護者の割合は平成 25 年度調査では 87.0%、平成 17 年度調査では 90.3%、中学校保護者の割合は平成 25 年度調査では 83.9%、平成 17 年度調査では 87.5%、高等学校保護者の割合は平成 25 年度調査では 83.7%、平成 17 年度調査では 89.5%であった。特別支援学校保護者の回答は平成 25 年度調査では「社会のルールを守り、人に迷惑をかけないようにさせる」(76.2%)であり、平成 17 年度調査では「片付けなど自分のことは自分でできるようにさせる」(81.1%)であった。

家庭でのしつけや教育内容について保護者に聞いたところ、「社会のルールを守り、人に迷惑をかけないようにさせる」(小学校：87.0%、中学校：83.9%、高等学校：83.7%、特別支援学校：76.2%)との回答が最も割合が高く、次いで「片付けなど自分のことは自分でできるようにさせる」(小学校：81.5%、中学校：74.6%、高等学校：66.9%、特別支援学校：70.8%)が高い割合であった。さらに、小学校と特別支援学校の保護者では「早寝早起きなど規則正しい生活習慣を身につけさせる」(小学校：70.8%、特別支援学校：63.8%)、中学校と高等学校の保護者では「勉強のことだけでなく会話をする」(中学校：67.9%、高等学校：62.8%)が続いている。(図Ⅲ-86 参照)

図 III-86 家庭でのしつけや教育に関わること(保護者)



家庭でのしつけや教育内容について、保護者の回答の割合の高かった項目を平成 17 年度調査結果と比較すると、小学校保護者の回答は平成 25 年度調査では「社会のルールを守り、人に迷惑をかけないようにさせる」(87.0%)、「片付けなど自分のことは自分でできるようにさせる」(81.5%)、「早寝早起きなど規則正しい生活習慣を身につけさせる」(70.8%)であり、平成 17 年度調査では「社会のルールを守り、人に迷惑をかけないようにさせる」(90.3%)、「片付けなど自分のことは自分でできるようにさせる」(84.2%)、「勉強のことだけでなく会話をする」(72.5%)であった。中学校保護者の回答は平成 25 年度調査では「社会のルールを守り、人に迷惑をかけないようにさせる」(83.9%)、「片付けなど自分のことは自分でできるようにさせる」(74.6%)、「勉強のことだけでなく会話をする」(67.9%)であり、平成 17 年度調査では「社会のルールを守り、人に迷惑をかけないようにさせる」(87.5%)、「片付けなど自分のことは自分でできるようにさせる」(74.5%)、「勉強のことだけでなく会話をする」(69.8%)であった。高等学校保護者の回答は平成 25 年度調査では「社会のルールを守り、人に迷惑をかけないようにさせる」(83.7%)、「片付けなど自分のことは自分でできるようにさせる」(66.9%)、「勉強のことだけでなく会話をする」(62.8%)であり、平成 17 年度調査では「社会のルールを守り、人に迷惑をかけないようにさせる」(89.5%)、「片付けなど自分のことは自分でできるようにさせる」(68.3%)、「勉強のことだけでなく会話をする」(67.9%)であった。特別支援学校保護者の回答は平成 25 年度調査では「社会のルールを守り、人に迷惑をかけないようにさせる」(76.2%)、「片付けなど自分のことは自分でできるようにさせる」(70.8%)、「早寝早起きなど規則正しい生活習慣を身につけさせる」(63.8%)であり、平成 17 年度調査では「片付けなど自分のことは自分でできるようにさせる」(81.1%)、「社会のルールを守り、人に迷惑をかけないようにさせる」(79.2%)、「早寝早起きなど規則正しい生活習慣を身につけさせる」(69.8%)であった。(図Ⅲ-87～91 参照)

図 III-87 家庭でのしつけや教育に関わること(保護者合計)

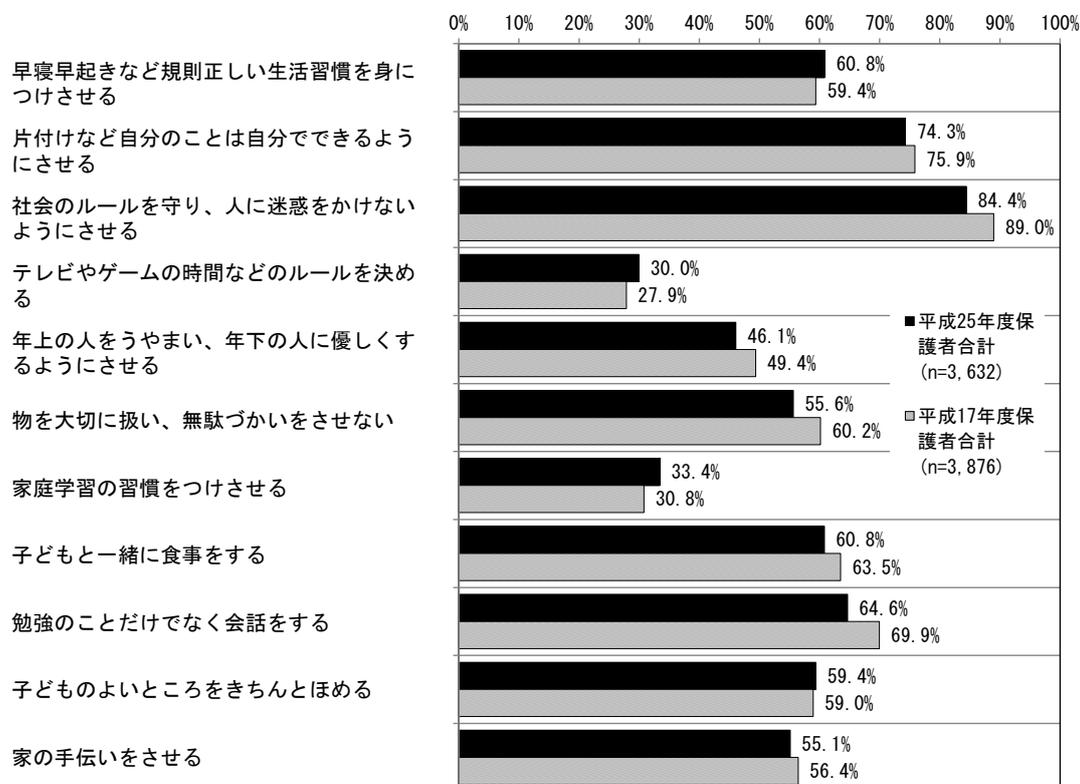


図 III-88 家庭でのしつけや教育に関わること(保護者：小学校)

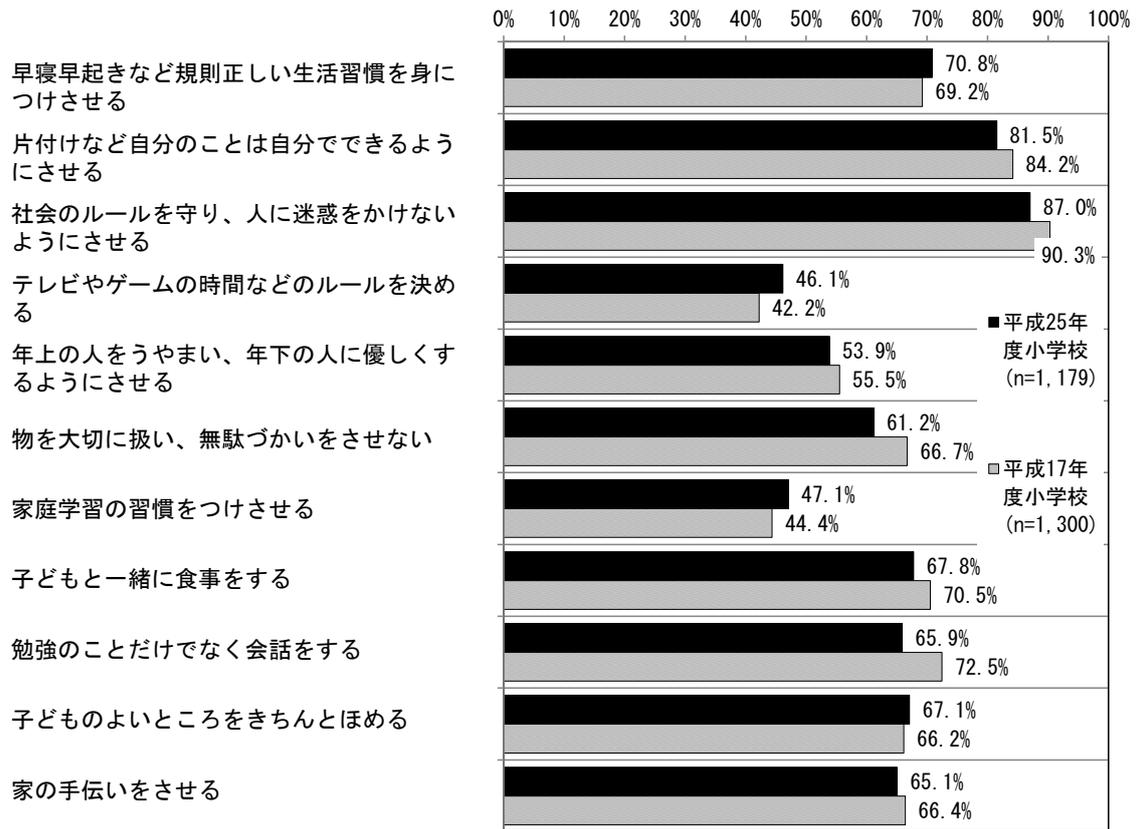


図 III-89 家庭でのしつけや教育に関わること(保護者：中学校)

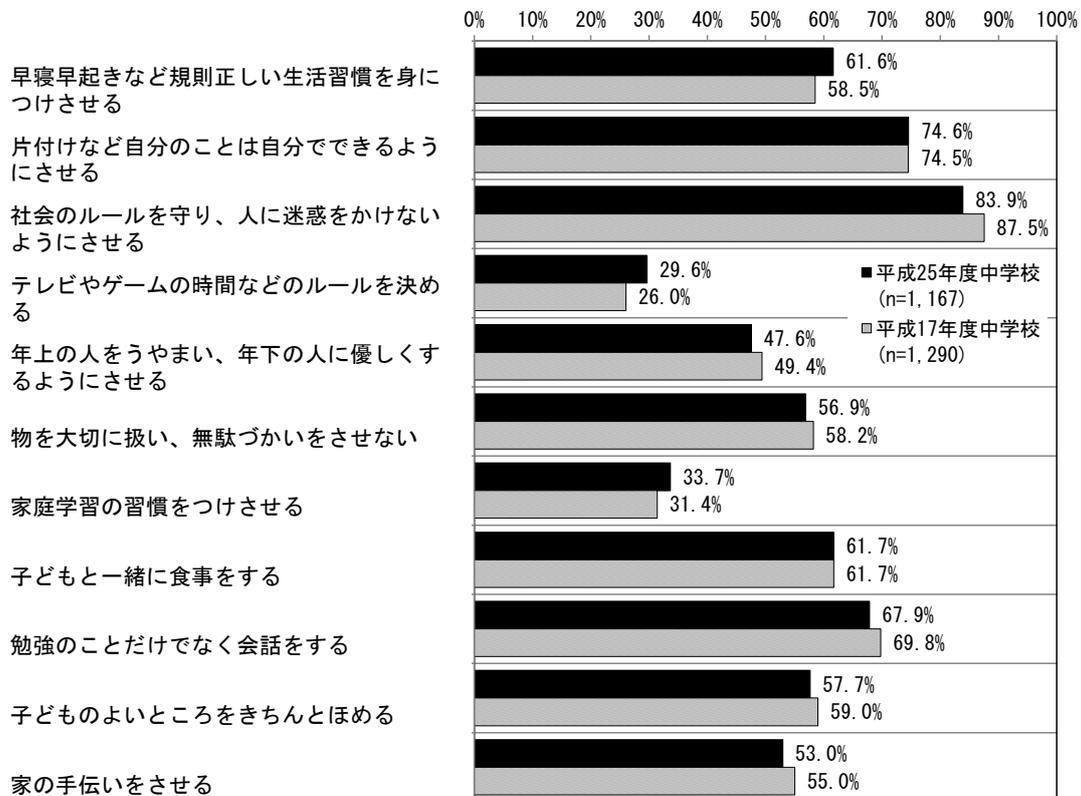


図 III-90 家庭でのしつけや教育に関わること(保護者：高等学校)

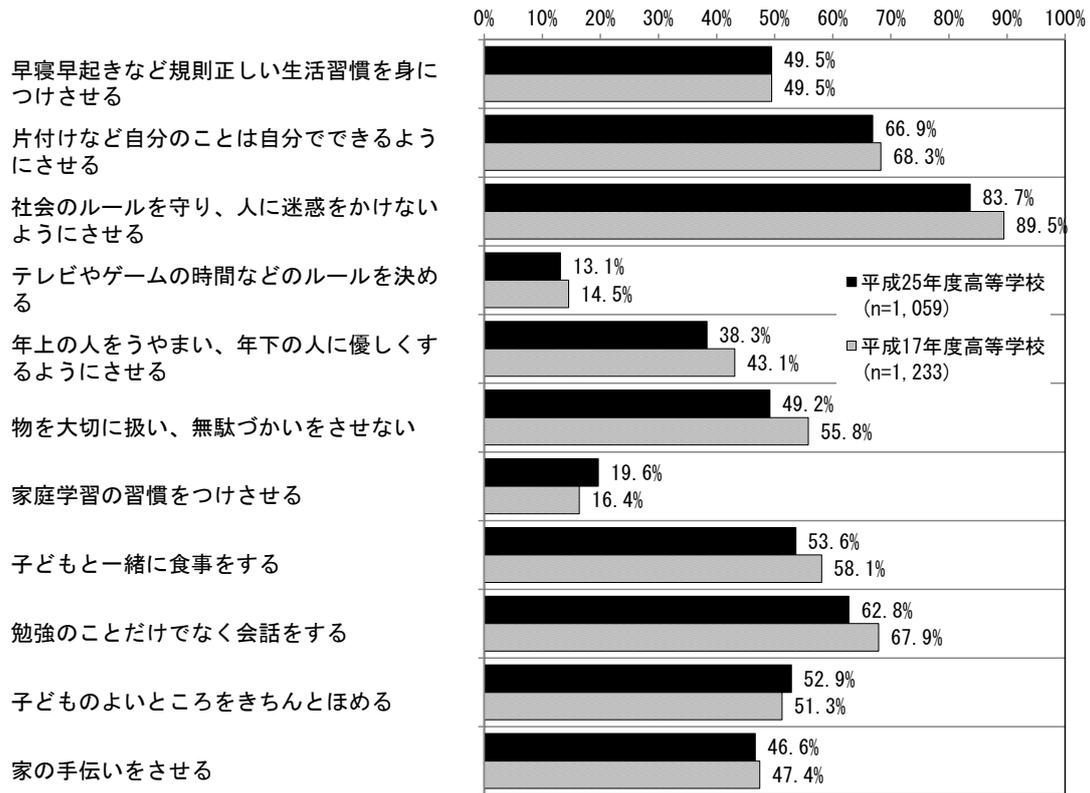


図 III-91 家庭でのしつけや教育に関わること(保護者：特別支援学校)

